

岐阜市新庁舎基本設計（案）に対する パブリックコメント手続の結果について

岐阜市では、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害に対し、高度な防災機能を備え、また、市民の利便性の向上のため、ワンストップサービスやユニバーサルデザインなどの機能を併せ持つ新庁舎の建設に取り組んでおり、平成 33 年度の開庁を目指しています。

平成 26 年 12 月に、市役所を岐阜大学医学部等跡地（司町）へ移転することが市議会で決定されたことから、本市は、同月に新庁舎建設基本計画を策定しました。

その後、その基本計画をもとに、市民の皆様のご意見を伺いながら、基本設計作業に取り組み、このたび、「岐阜市新庁舎基本設計（案）」をまとめました。

そして、この設計案について市民の皆様のご意見等をお伺いするパブリックコメント手続を実施しました。

その結果、市民の皆様から 76 通のご意見をいただきました。いただいたご意見と岐阜市の考え方は下記のとおりです。

なお、提出いただいたご意見は、意見の趣旨を損なわない程度に要約しています。また、今回の設計案と直接関係がないご意見については、市の考え方は示しておりません。

1 結果概要

（1）募集方法等

募集期間	平成 27 年 11 月 28 日（土）～平成 28 年 1 月 18 日（月）
意見提出方法	直接提出、郵送、ファクシミリ、電子メール、 ホームページ意見提出フォーム
基本設計（案） の公表場所	行政部新庁舎建設課、市政情報コーナー、 市民活動交流センター、柳津地域振興事務所、 各事務所（6 か所）、各コミュニティセンター（8 か所）、 市ホームページ

（2）提出数、提出方法、意見数

提出数	76 通
提出方法	直接提出（17 通）、郵送（9 通）、ファクシミリ（19 通）、 電子メール（19 通）、ホームページ意見提出フォーム（12 通）
意見数	217 件

(3) 周知方法

周知手段	内 容
資料の閲覧・配布	行政部新庁舎建設課、市政情報コーナー、柳津地域振興事務所、各事務所、市民活動交流センター、各コミュニティセンター
広報ぎふ	・ 12/1号（特集記事、フルカラー2ページ） ・ 12/15号、1/1号、1/15号
市ホームページ 市公式フェイスブック	・ 11/26掲載
岐阜駅北口駅前広場	・ 情報案内板で掲示（11/27～1/18）
テレビ放送	・ 市広報番組 「あなたの街から 岐阜市」でテロップ表示（12/18、12/25、1/8） ・ データ放送 ぎふチャン（11/26～1/18）、NHK岐阜（12/6～1/18）
ラジオ放送	・ ぎふチャンラジオ「ハートフルラジオ お昼のレコード室」の生放送番組に出演（12/25）
タウン誌	・ ぎふ咲楽 2016.1月号（12/5発行）掲載
市民説明会	・ 市内3か所で計4回開催（12/12、12/15、12/16、12/18）

(4) 項目別の意見数

意見分類	件 数
市民意見	217件
基本設計に関する意見（53%）	115件
設計コンセプト	2件
新庁舎のコンセプト・計画概要等	5件
配置計画の考え方	50件
平面計画の考え方〔低層部〕	28件
平面計画の考え方〔議会部門、執務部門〕	24件
岐阜らしいデザインと 環境・防災に配慮した庁舎の考え方	6件
実施設計に関する意見（6%）	12件
新庁舎の運用やルールに関する意見（4%）	9件
その他の意見（37%）	81件

2 いただいたご意見と岐阜市の考え方

P2 設計コンセプト

(1) 設計コンセプト全体

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
1	<p>この設計案は、従来の「官製の公共空間」の設計とは異なり、市民活動の活発化を充分に創出・創発させるプラットフォームとしての市庁舎の設計案としてまとまっていると賛同する。岐阜市の未来に大きくつながっていくものであり、大きく期待する。</p>	<p>新庁舎建設は、岐阜市百年の大計ともいえる大事業であり、未来の礎としてふさわしい新庁舎の建設に向け、今後も引き続き、市民の皆様のご意見等を十分にお伺いしながら事業を推進してまいります。</p>
2	<p>長良橋から柳ヶ瀬までのエリアを1つの統一コンセプトのもとに再整備を進め、その一環として新庁舎の建設を行ってはどうか。</p> <p>具体的には、川原町と鶉飼の情緒的・幻想的な風情を感じる提灯灯り、松明の暖かみをイメージした照明に統一し、歩道を県産材の枕木、あるいはきれいな石畳などのレトロなイメージを全エリアで整備し、その中でメディアコスモスの木の温もりと、県旧総合庁舎のレトロな佇まいを融和させたデザインで、6階程度の低層新庁舎を設計し、景観の面でも周辺と調和をとるようにする。</p>	<p>新庁舎の建設地となる岐阜大学医学部等跡地は、柳ヶ瀬など中心市街地の都市的景観、川原町に代表される歴史的景観、そして、金華山や長良川といった自然的景観を繋ぐ結節点に位置しています。</p> <p>このため、新庁舎の設計コンセプトの一つに、「都市的・歴史的・自然的景観と融和する庁舎」を掲げ、建物の外観はもとより、建物や、敷地全体の緑化など、周辺環境と調和するよう様々な配慮を行っています。</p> <p>今後も引き続き、新庁舎のみならず、まちづくり全体において、岐阜らしさが感じられるよう魅力的な都市空間の形成に努めてまいります。</p>

(2) 個別コンセプト

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
3	<p>「つかさの森」や「みどりの丘」をつくるといっても、金華山の自然と比べれば質が極めて劣るため、考え方が悪い。</p>	<p>本市の中心部を俯瞰すると、金華山の緑が市街地の背景として絶大な存在感を示すものの、その他にまとまった緑は、ほとんど見られない状況にあります。</p>
4	<p>「みどりの丘」は小手先細工。2,3階に屋上庭園風に設ける原案だが、この小面積では「みどりの丘」とは云えない。「金華山と連続する景観づくり」と唱っているが、それはむしろ建物の姿で表現すべきだ。</p>	<p>一方で、街中の緑化は、魅力的な景観の創出や都市型気候の緩和、防災安全性の確保など、非常に重要な役割を担うものであり、これを増やしていくことが大切です。</p> <p>新庁舎については、新たなまちづくりの拠</p>

5	4階は、外部を人が歩き回れるのであれば、魅力的なイメージを出してほしい。また、議場の形が気持ちわるい。	<p>点にふさわしい空間の創出とともに、都市の緑化を先導する役割を担うものと位置付け、敷地内の積極的な緑化を図り、緑あふれる核となる「つかさの森」及び「みどりの丘」を整備する計画としています。</p> <p>なお、「みどりの丘」は、やすらぎと憩いに溢れる魅力的な空間となるよう整備し、市民の皆様の交流や子供たちの学びの場など、幅広く活用していただきたいと考えています。</p>
6	新庁舎（18階建）と岐阜市民病院（8階建）は、岐阜市の町を知らない人でも分かるように表示があるとよい。外観には、岐阜市のシンボルマークとして思い浮かぶ市章（井桁マーク）や岐阜市民病院のマークを、建物内には、海鷲、岐阜清流国体のシンボルキャラクターのミナモ（妖精）。	本市の新たなまちづくりの拠点となる新庁舎は、市民の皆様のみならず、市外から訪れる方にも、市役所であることが一目でわかるよう、正面玄関に市旗を掲揚したり、外壁に市章を掲げるなど、市のシンボルとしてわかりやすくしていきたいと考えています。

P3 新庁舎のコンセプト

(1) 新庁舎の基本理念

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
7	岐阜市をどのような市にしたいかのビジョンが、この基本設計の説明の中にある。今後我々が目指す市は、例えば「災害に強い」、「観光資源を生かす」、「文化の香りがする」などがあると思う。その「夢（目標）」に沿った「新庁舎」の提案であって欲しいが、その観点からの「提案」がほとんど見られないのが残念。早急に再検討してほしい。	<p>本市の目指すべき将来都市像については、「ぎふ躍動プラン・21（岐阜市総合計画2013-2017）」において、①安心して暮らせる都市、②便利で快適な都市、③活力のあふれる都市、④人生を楽しむ都市、⑤多様な地域核のある都市の5つを掲げています。</p> <p>新庁舎の基本理念や基本方針は、上位計画で示された、これらの将来都市像の実現に向けて、市庁舎として必要な役割や機能等を整理・検討し、取りまとめたものです。</p>
8	市庁舎はデザインでなく機能的であればいいのではないかと。	新庁舎は、市庁舎として真に必要な役割や機能を追求するとともに、特徴的なデザインを有する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と隣接していることなどを踏まえ、周辺環境との調和を図ることも重要な要素の一つであると考えています。

9	<p>現在の建物と建て替える建物の1日、1ヶ月、1年の経費を比較したのか。</p> <p>また、18階のエレベーターの1日の稼働率経費はいくらかかるのか。</p>	<p>「岐阜市新庁舎建設基本計画」にて比較検討しておりますが、現在の本庁舎を今後10年間又は20年間にわたって継続して使用する場合と、新庁舎を建設する場合のライフサイクルコストは、現庁舎が老朽化していることなどから、新庁舎を建設する場合の方がそのコストを低く抑えられると考えています。</p> <p>なお、エレベーターの維持管理費は、現時点では仕様等を確定していないため、積算しておりませんが、出来得る限り適切な規格とし、低コストの製品を導入する予定です。</p>
10	<p>設計案の建物では、年間の維持費がかかりすぎると考えられ、他の予算が削られるか、あるいは市民への負担増になるのではないかと。</p>	<p>新庁舎は、太陽光や地下水といった本市の地勢を生かした自然エネルギーの活用や、機構改革に柔軟に対応できるフレキシブルな執務空間など、低コストで長く使い続けられるよう様々な配慮を行っています。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様に質の高い行政サービスを提供し続けるため、新庁舎のライフサイクルコストの縮減とともに、弛まない行財政改革によって、堅固な財政基盤の確立に努め、市民の皆様の負担が生じない行財政運営に努めてまいります。</p>

(2) 新庁舎の5つのコンセプト

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
11	<p>高層ビルで、しかも市役所機能が集中した庁舎では、緊急時（災害時）に多くの職員が参集できないだろうし、避難場所として近隣住民を吸収することはできない。防災は「人」が重要だが、今回の設計案は、人抜きで施設のみ誇っている計画だ。災害時は、人がおらず機能不全となるだろう。</p>	<p>本市は、災害に対するリスクマネジメントの一つとして、「岐阜市業務継続計画」を策定しています。</p> <p>この計画は、災害発生時にあっても、市民生活への影響を最小限にとどめるため、災害とその被災状況を想定した上で、職員の参集状況の予測などをはじめ、災害対応業務の遂行や非常時優先業務の継続に必要な措置や対策等を定めたものです。</p>
12	<p>災害発生時における拠点としての考え方はもちろんだが、浸水時における（職員の）庁舎まで及び庁舎からの移動の方法、電源の確保、職員の寝具・食事の備蓄は、それぞれどのように考えているのか。庁舎の形のみが議</p>	<p>新庁舎は、これを踏まえ、災害発生時の迅速な初動や、災害後の円滑な復旧や復興、市民生活に直結した行政サービスを継続するた</p>

	論されがちだが、運用についても議論した方がよいのではないか。	め、浸水対策や非常用電源類の整備、災害時の職員支援や資機材・食料の備蓄など、防災拠点に不可欠な機能を、大規模災害時にあっても発揮できる計画としています。
(3) 新庁舎のフロア構成の考え方		
NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
13	限りある用地を有効に活用するという観点なら高層案も理解できますが、そうであるならば、地下利用も検討すべきだと思う。検討されたのなら、地下を利用できない理由を教えてください。	新庁舎における地下利用は、本市の地勢的な特徴として、建設地の地下水位が浅く、工事に伴う地下水の湧出への対策等によって建設コストが大きく膨らむため、免震装置の設置など最小限に留める計画としています。
14	8階に庁舎設備を集約し機械室・電気室・発電機室等を配置しているが、機器等の重量や振動及び2層吹き抜けによる構造への負担や設備配管、電気配線が長くなることによるコストアップ、機器のメンテナンス・更新等で非常に問題がある。長良川の氾濫や集中豪雨では万が一でも8階まで浸水せず、免震装置や地下水を熱源に使うための地下のピット等が必要なので、地下に設備を集約した上、浸水対策を計画する方が経済的、合理的である。なぜ、8階にわざわざ庁舎設備を集約したかを具体的に説明すべきだ。	新庁舎建設地は、本市のハザードマップで浸水深0.5～1.0mと想定され、長良川の氾濫等による浸水の可能性が否定できません。 そこで、新庁舎の浸水対策は、昨年9月の関東・東北豪雨の際に、浸水によって庁舎の防災拠点機能が失われ、災害対応に著しい支障を来した北関東地方の庁舎の教訓や、他都市の浸水対策等を踏まえ、検討を重ね、主要な機械室を8階に配置する計画としています。 また、本市の地勢上、建設地の地下水位が浅く、地下水対策に建設コストが嵩むため、地上階に配置する方がコストを抑制できること、また、空調や送電等の効率が向上すること、さらには、万が一の場合にも水損する恐れが生じないことなど、経済性や効率性、災害時における庁舎機能の維持などを、総合的に検討した計画です。
15	庁舎設備が8階に設けられているが、機器類の機能や重量を考えると、騒音や振動や震災時の耐久性が心配。浸水対策を施した上で、地下に設置すべきではないか。	
16	5階全部が市長室なのか。そんなに面積が必要なのか。もっと狭くしてもよいのではないか。	新庁舎の5階については、市長室のほか、2つの副市長室や秘書課、広報広聴課や、報道機関の記者クラブやプレスルーム、その他庁内会議を行う共用会議室やミーティングスペース等、市長室の職務を円滑に行うため、関連する必要な居室を配置する計画です。
17	執務部門とは、どの部署が含まれているのか。	新庁舎の中高層階については、4階は議場を含む議会部門、5階は市長室やプレス室、6階

		<p>及び7階は災害対策を主とする危機管理部門、8階は主要な機械設備類を、それぞれ集約して配置する計画です。</p> <p>また、9階以上は、一般的な執務部門として、2フロアごとを基本に、業務上関連の深い部門を配置する計画であります。</p> <p>現在の組織、機構に基づき、9階・10階は財政・企画や各部の政策部門、11階・12階は内部管理部門や行政委員会、13階・14階は商工・農林や環境部門、15階・16階は建設部門、そして、17階・18階はまちづくりや教育部門とし、全23部98課を配置する計画です。</p>
--	--	--

P4 配置計画のポイント

(1) 新たなにぎわいを創出する市民広場

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
18	<p>庁舎が少しずつ広場側にせり出すように3階までたっており、圧迫感を感じる気がする。建物が主張しすぎると広場が窮屈に感じるので。建物形状を工夫し、上空側に広がるような空間形成ができると良い。</p>	<p>新庁舎の形状は、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場 カオカオ」から新庁舎を眺望した際の距離感や開放感の確保を重要な要素の一つとしており、様々な配慮を行っています。</p> <p>今後の実施設計においても、空間がより広く見えるよう、窓ガラスの配置などに工夫を講じたり、効果的に緑化を施すなど、施設を利用される方々に、開放感を感じていただけるよう検討してまいります。</p>
19	<p>新庁舎敷地内もしくは近隣に大きな遊具のある公園を整備してほしい。子供がいる世帯でも、住みやすい街になれば少子化や過疎化の歯止めになるのではないかと思う。</p>	<p>新庁舎においては、子どもたちの学びや遊びにも利用いただける場として、岐阜や金華山の植生にちなんだ植栽を配した「みどりの丘」や、現在の約1.7倍の広さに拡張し、あわせて、長良川の豊富で清らかな水を感じていただけるような噴水を備えた「みんなの広場 カオカオ」を一体的に整備する計画としています。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様が安心して子どもを生み育てることができるよう、新庁舎の整備に留まらず、子どもの遊び場などをは</p>

		じめ、安全・安心な子育て環境の整備に取り組んでまいります。
20	防災面で（災害時に）雨風をしのぐことができる通路を作ってほしい。	<p>新庁舎東側の立体駐車場から新庁舎までの動線は、屋根付きの渡り廊下を設けるなど、来庁者の方が雨に濡れることなく来庁できる計画としています。</p> <p>その他にも、新庁舎の東西南北の4方向ともに、2階の軒部分を張り出すことにより、雨をしのげる空間の確保を考えています。</p>

(2) ぎふメディアコスモスの人の流れと呼応する動線計画

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
21	新庁舎とメディアコスモスが雨天時でもぬれずに行き来することができるようになることを希望する。	<p>新庁舎と「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の間隔は約65mあり、双方を雨に濡れずに往来する方法として、①屋根を設けた通路で結ぶ、あるいは、②地下通路で接続することが考えられます。</p> <p>①屋根付き通路を整備することは、通常の大規模イベント開催や災害時の防災広場といった、「みんなの広場 カオカオ」の一体的な活用に支障を生じることが考えられること、また、②地下通路を整備することは、建設コストの大幅な上昇を招くことから、総合的に検討した結果、これらの整備は困難と考えています。</p>

(3) 周辺環境と調和する建物形状

①-1 新庁舎の階数・高さ [周辺環境]

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
22	高層にしたいのであれば、メディアコスモスから最大限離すべき。設計案では各方角から圧迫感が無いと書いているが、この敷地内のどこに建てても、同じように説明を付けようと思えばできるように読める。	<p>新庁舎は、隣接する民有地を活用して、新庁舎と立体駐車場を南へ約20m寄せ、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」との間隔を約45mから約65mへ広げるとともに、新庁舎の中高層部をスリムな形状とし、あわせて、出来得る限り東側へ寄せて配置しています。</p>
23	建物の高さについて、メディアコスモスが陰にならないように配慮してほしい。メディアコスモスが新庁舎の陰の中に入ってしまう	<p>これらの工夫により、ぎふメディアコスモスや、「みんなの広場 カオカオ」等から、青</p>

	と、メディアコスモスの「快適な空間」という価値が下がり、利用者が少なくなるかもしれない。	空が臨める開放的な空間が生まれ、また、圧迫感が低減されるとともに、これらの施設に与える日影の影響や、広場や周辺に及ぼすビル風の影響も軽減する計画としています。
24	18階建ての新庁舎が建設されると、メディアコスモスが日陰になり、景観も損なわれずし、雪が降れば大変なことになる。	なお、ぎふメディアコスモスの日照への影響は、1年のうち春、夏及び秋については、日影となることはありません。
25	18階建、高さ80mとなっているが、つかさの森に相応しくない。近隣住民は日陰になり、毎日高いビルに圧迫感を感じながらの生活に息苦しさを感ずる。また、上方から見下ろされているようで落ち着かない。プライバシーが侵害される恐れがある。したがって、高さは最大限10～12階までにすべきである。	一方、冬については、太陽の位置が低く日影の長さが伸びるため、日影となりますが、新庁舎をスリムな建物形状とするため、日影の幅が狭くなり、時間とともに日影の部分が速やかに移動していくこととなります。
26	18階建、80mの高さは、周囲の環境と比べてもあまりにも高すぎると思う。北側のメディアコスモスが影になってしまい、せっかくの太陽光にも影響し、何より景観が悪くなる。高さを低くしてほしい。設計会社の最初のデザインは、その半分くらいの高さだったと思う。	
27	環境の点でも「低層」の方が「高層」より有利であることはもちろんのことである。この様に当然のことが無視されている提案を信頼するわけにはいかない。日照権・ビル風の問題など高層によるデメリットがあるのに、なぜ低層から高層に変更したのか。	
28	高くすれば無駄が多くなり、低いほうが良い。高くする時は市民にメリットをもたらすようにする。	
29	18階建てである必要があるのか。高層になればなるほどコストもかかるし、建設に手間と時間がかかる。岐阜市にはそれほどの財政的余裕があるのか。また高層階になることで、日照の問題も出てくるし、メリットはあまり感じない。聞くところでは有効なスペースの占める割合はかなり少ないそうだ。なるべく	

	無駄を排除し、後世の岐阜市民に大きな負債を背負わさないことが大切である。	
30	今回発表された設計案に強く反対し、広面積の低層建物を希望する。理由は、①高層ビルがメディアコスモスとの一体感を損なう事とメディアコスモスへの日照問題。②自然的景観との非融和、商社ビルの様でミスマッチ、日本国民が感心を集める記憶に残る外観デザインが必要ではないか。③以前報道された低層棟が高層棟に変更になったプロセスが明確に示されていない。④高層棟により、地震発生時の破損の可能性が大きい。	
31	当初、低層9階の提案があったと思うが。今回の高層案は絶対反対です。メディアコスモスというすばらしいコミュニティ豊かな図書館が出来、孫たちと遊びに時折行っている。岐阜のシンボル、岐阜城（金華山）が見えなくなる建物は要らない。岐阜の大切な街づくりに邪魔な建物を作ってはダメだ。	
32	2 ページのカオカオのパスは、実際は影ができ、駐車場で閉鎖された暗い場所になるのではと不安だ。	「みんなの広場 カオカオ」の日照への影響は、1年のうち春、秋及び冬については、日影となりますが、新庁舎の中高層部をスリムな建物形状とするため、日影の幅が狭くなり、時間とともに日影の範囲が速やかに移動していきます。 なお、夏は、日影となることはありません。
33	北側公園の採光はどのようになっているか。	
34	新庁舎の配置について、メディアコスモスとの共存を図るとしているが、どう見てもメディアコスモスの優れた意匠デザインを真正面から塞いでいるようにしか見えない。	新庁舎は、曲線が印象的な「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめとする周辺環境との調和を重要視し、新庁舎全体をシンプルで曲線を用いた柔らかい外観とし、また、新庁舎の低層部の高さを、ぎふメディアコスモスと同じ高さ（約15m）にあわせ、一体感を生み出すとともに、中高層部については、ぎふメディアコスモスなどから眺望した際に、青空が見える開放的な空間を生み出すため、出来得る限り東側へ寄せ、その形状をス
35	メディアコスモスとの関連性、例えば壁面線・柱割・高さ等が見当たらない。	

		<p>リムな形にするなどの工夫を講じています。</p> <p>また、建物形状やデザインに留まらず、にぎわいの創出や災害時の防災対策といった、ぎふメディアコスモスや「みんなの広場 カオカオ」との連携も考え、広場を約 1.7 倍に拡張するとともに、ぎふメディアコスモスと呼応する動線計画などを計画しています。</p>
①-2 新庁舎の階数・高さ [防災]		
NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
36	<p>案の高層（18 階）は、「災害に強い」の「逆」の考え方と言える。基本的に「低層」の方が「高層」より災害に強いことは自明の理である（地下も無い）。当初の 9 階建の案を、あえて災害に不利な「高層に変更」した理由を丁寧に説明してほしい。</p>	<p>新庁舎の地震対策については、建設地の地盤は、地質調査の結果、庁舎の建設に耐え得る強固な支持層がある地盤であることが確認されています。</p> <p>さらに、新庁舎の構造についても、近年、その対応が求められている長周期地震動も考慮しながら、現時点で想定し得る最大震度を踏まえ、適切な構造計画を検討しています。</p>
37	<p>高さや規模について、18 階という高層の建物はこの周辺の景観にそぐわないと思う。また地震など災害の時は階段利用が原則の為、市民や職員の避難は困難になることが予想され、その後の使い勝手も悪い。そのためにもせめて 10 階建て程度にすべきだ。</p>	<p>具体的には、過去の地震災害において、大きな効果が確認されている「免震構造」を採用し、国土交通省が公共施設について定める、「官庁施設の総合耐震計画基準」に則り、防災拠点にふさわしい、一般建築物の 1.5 倍の優れた耐震性能を確保する計画としています。</p>
38	<p>万が一の地震・火事といった災害時には、高層階から避難するのは大変なことなので、この点からも 18 階の高層にした理由を知りたい。</p>	<p>一方、火災対策についても、消防設備や防火設備等の耐震性を考慮に入れながら、区画壁で作られた防火区画や避難階段、緊急救助用スペースをはじめとする所要の設備を整備し、来庁者や職員の安全確保に配慮する計画としています。</p>
39	<p>建物高さは、防災上軽微な 9 階までに抑えるか、せめて 14 階以下にするべき。岐阜に高い建物は必要ない。もっと景観を重視するべき。</p>	<p>今後も引き続き、国の防災基準の見直しなど、様々な動向を注視しながら、防災拠点として、必要な機能や性能の充実に努めてまいります。</p>

①-3 新庁舎の階数・高さ [コストや効率性等]

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
40	<p>高ければ高いほど、エレベーターに頼らなければならぬが、そのスペースもとるし、電気代もかかるし、太陽光発電を採り入れるとしても、ムダに電気を使うという気がする。</p>	<p>新庁舎については、各階のエレベーターやトイレ、機械設備等を、建物の中心部に配置する「センターコア方式」を採用しています。</p> <p>この方式により、コアを1か所に集約して省スペース化・コンパクト化を図るとともに、エレベーターなど機械設備の稼働効率の向上を図るとともに、メンテナンスを容易にし、また、必要な機械設備の数量を減らすなど、建設コストや維持管理費の縮減を図る計画としています。</p>
41	<p>高層にする場合、執務スペースが（上下に）分散し、市庁舎移転に込められた分散の非効率性が依然として残ると思うが、高層階で分散させる方が良いという合理的な理由を説明すべき。</p>	<p>新庁舎の中高層部の執務フロアは、1フロアに関連する部署を集約し、さらに、2フロアごとを基本に、業務上関連の深い部門を配置しています。</p> <p>さらに、その2フロアには、市民の皆様と職員、あるいは関連部署間のミーティングなどが容易に行える多目的スペースと、その他、小・中会議室を交互に設け、フロア間を階段で繋ぐ計画としています。</p>
42	<p>ワンストップサービスにしてもユニバーサルデザインにしても「人・モノの流れ」は面積が大きいほど有利であり、直線が長いほど有利だが、それを「高層」に分断する提案は「趣旨に反する案」である。利用する市民の立場から考えると、「各フロアを行ったり来たり」は非効率であり、また、市職員の立場から各部署間のコミュニケーションを良くするためにはできるだけ「同じフロア」が有利であることは間違いない。</p>	<p>これにより、近接して配置することが必要な部署は、同一のフロア、又は、隣接するフロアにコンパクトに集約され、業務上の連携は十分に図れるものと考えています。</p> <p>また、1フロアあたりの面積がコンパクトであるため、1フロア内の移動距離が短くなり、これにエレベーターの利用をあわせることで、歩行に困難を抱える方や車椅子を利用される方の移動負担の軽減を図ることができると考えています。</p> <p>今後、高齢化社会の進展に伴い、移動に困難を抱える方の増加も想定される中、業務効率の向上の観点に加え、ユニバーサルデザインの観点においても、合理性・効率性を考慮した計画としています。</p>

①-4 新庁舎の階数・高さ [その他]

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
43	<p>20 階以上のヘリポート付きの建物にしてほしい。20 という大台に乗るか乗らないかでイメージも違い、また、最上階は市民が気軽に利用できる展望台やレストラン等にはどうか。更に、みんなの広場への日当たりの問題があれば、本庁舎と立体駐車場の位置を逆にすればよい。</p>	<p>新庁舎のレストランは、日常の職員の利用とともに、ぎふメディアコスモスの来館者や新庁舎の来庁者など、大勢の人々が訪れると考えられることから、にぎわい創出の観点から、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場 カオカオ」に近接し、利便性も高い、低層部 2 階に配置する計画です。</p> <p>新庁舎の最上階を展望フロアとする計画は、建設コストの抑制等の観点から、現在、その予定はありませんが、高層部北側に設置する多目的スペースは、展望スペースとしての活用も可能であることから、市民の皆様にも気軽にご利用いただけるよう、その運用等について検討してまいります。</p> <p>また、屋上階をヘリポートとすることは、建物の構造をそのために大幅に強化する必要が生じ、建設コストが大きく膨らむことや、その必要性、費用対効果などを多角的に検討した結果、より低コストで必要な機能を充足することができる、緊急救助用スペース（ホバーリングスペース）として整備する計画としています。</p>
44	<p>18 階建もの建物がなぜ必要なのか。</p>	<p>新庁舎の形状については、関係法令に定められた諸規制への適合はもとより、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめとする周辺環境との調和、新庁舎に必要な機能を効率的に組み込むことができるかなど、多くの課題をバランスよく解消する必要があると考えています。</p>
45	<p>高層型にする必要はないと考える。高層型のコンセプトの多くは低層型でも実現が可能で、むしろ低層型の方が優れていると感じるものもある。もっとこの事をよく考えたいので、高層型にしかない良い点を紹介してほしい。</p>	<p>具体的には、ぎふメディアコスモスや「みんなの広場 カオカオ」などから新庁舎を眺望したときの距離感や圧迫感、空の開放感、あるいは、これらの施設の日照を確保することなどとともに、現在 5 つの庁舎に分散して</p>
46	<p>今春、9 階建ての案が公表され、今回はいきなり 18 階建ての案が提出されたが、そのメリット・デメリットを含め、高層建物にした明確な回答を早急に公表してほしい。</p>	<p>具体的には、ぎふメディアコスモスや「みんなの広場 カオカオ」などから新庁舎を眺望したときの距離感や圧迫感、空の開放感、あるいは、これらの施設の日照を確保することなどとともに、現在 5 つの庁舎に分散して</p>
47	<p>18 階建、地上 80m の超高層ビルとなってい</p>	<p>具体的には、ぎふメディアコスモスや「みんなの広場 カオカオ」などから新庁舎を眺望したときの距離感や圧迫感、空の開放感、あるいは、これらの施設の日照を確保することなどとともに、現在 5 つの庁舎に分散して</p>

	<p>ますが、9 階建てで十分だと思う。市民の税金を無駄に使ってほしくない。</p>	<p>いる 100 程度の部課や様々な便利施設を、機能毎に、出来得る限り、無駄なくコンパクトに、市民の皆様にわかりやすく配置すること等が挙げられます。</p> <p>基本設計における新庁舎の配置や建物形状は、これらの課題を解消する観点から、行政内部の検討のみならず、市民の皆様の意見に加えて、都市計画や建築意匠などの専門家の方々や、本市の景観アドバイザー、さらには、ぎふメディアコスモスの設計者である伊東豊雄氏にもご意見をお伺いし、また、職員にもアンケート調査などを実施して、検討を重ねたものであります。</p> <p>その結果、隣接民有地を活用し、新庁舎と立体駐車場を南へ約 20m 広げるとともに、低層部の高さを、ぎふメディアコスモスと揃え、また、中高層部をスリムにして東側へ配置するなど、新庁舎の配置や形状に工夫を講じることで、ぎふメディアコスモスやカオカオなどからの圧迫感の解消や青空が見える開放的な空間の創出、また、これらの施設の日照の確保、さらには、周辺へのビル風の影響の低減など、様々な課題の解消を図った計画としております。</p> <p>本市としましては、新庁舎の配置や形状は、当地に建設する市庁舎として、現在想定できる諸課題を、適切に解消するものであると考えており、市民の皆様のご理解をいただけるよう、引き続き、様々な機会を通じて、説明に努めていきたいと考えています。</p>
48	<p>地上 18 階の建物は必要ない。また、コストのかかる吹抜けと多目的スペースを各階に設ける必要はない。最初の提案書通りの 9 階建てで執務部門をコンパクトにすれば充分間に合う。</p>	
49	<p>断面に階高数値がないため、どの程度の高さになるかが気になる。</p>	
50	<p>18 階の高い市庁舎は、私たち高齢者にはなじめない。建物に入りづらいし、西野町近隣の方には今まで見た金華山が見えなくなる方もあるのではないかと。岐阜のシンボル金華山が見えなくなるのはショックだと思う。せいぜい 10 階までにしてもらいたい。</p>	
51	<p>18 階建ては景観を悪くする。せめて裁判所くらいの高さ（6 階程度）にすべき。せっかく見晴らし良く、金華山や岐阜城の四季折々の景色を楽しもうと思っているのに、台無しである。</p>	
52	<p>岐阜市の売り（シンボル）は、何といても「金華山と岐阜城及び長良川」である。新庁舎が高層ビルになれば、岐阜駅方面から来た方が、新庁舎によって、金華山と岐阜城が視界から遮られやすい様になると思う。それは出来る限り避けるべきであると考え、新庁舎は高層では無く低いビルにすべきと思う。</p>	
53	<p>（プロポーザルの）企画提案で「低層化で建設費削減」「影は小さく」と市に出したとの新聞記事があり、おもいやりの心を重んじる岐阜の街づくりに沿った心暖まる企画と思った。しかし、その様な提案を市民に知らせることなく、今回いきなり「超高層ビル」で広報された。景観にうるさく市民には許可申請を出せと言っている行政が、岐阜の町で、ましてやあんなステキな図書館の前にそんな物</p>	

	を建てるとは、全く、市民の民意を無視している様に思う。	
54	高層の15階は、金華地区の景観を壊すおそれがあり、また、低層で広大な建坪の方が地震等災害に強い。	
55	高すぎる建物は岐阜のまち・自然となじまない。5階位がよい。18階建て、80m高では威圧感が大きく、圧倒され、とても、「親しまれる庁舎」とは云えない。効率だけ考えれば1棟がよかろうが、「自然との調和」「金華山と連続する景観」を云うならば、せめて10階建てまでとし、2棟方式にするか、むしろ、東西に長くとして、1棟5階建てにする。こうすれば、原案1～3階の窓口・相談部門はすべて1階に納めて、市民本位の便利な庁舎となる。	
56	金華山の見晴台から見る市内の町並み風景は素晴らしい。特に長良川のくねくねした自然が良いが、高層建物が建つとそれが隠れてしまい景観を損ねるため、高層建物を再検討すべき。	
57	岐阜市の人口が減少していく10年後以降を想定しているとは考えられない18階建ての市庁舎案。高層階建設ありき…の前提の元に短期間に市民の意見を公募する方法で公表された設計案に憤りを感じる。	

② 建物形状その他

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
58	建物の角が丸まった形をしているが、デザインよりも機能性を重視してほしい。丸が四角になるだけで、スペースが大幅に増えるのではないか。	新庁舎の中高層部の四方を曲線形とした形状は、「みんなの広場 カオカオ」や建物周辺へのビル風の影響を低減する効果があることや、柔らかな屋根の曲線が印象的な「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめとする周辺環境との調和等を考慮し、採用したものであります。
59	建物形状の外観のアーチと内部の吹き抜け部分のアーチは非効率でコストもかかるため直線、多角形で十分だと思う。	なお、周辺のビル風については、この形状
60	基準階コーナー部の円形はコストがかかる	

	が、ビル風をどの程度軽減する必要があるか疑問だ。	により、建物上部で風が受け流されるとともに、建物上部から下部に向かう風も、新庁舎の低層部の天井部に当たり分散される効果が相まって、地上面へ及ぼす影響は、さらに低減されると考えています。
61	外観は、ふれあい福寿会館の様な感じの曲線的な建物がいいと思う。	
62	日影の影響と風の影響に配慮した形状なら、シミュレーションした結果を示してほしい。	
63	コア部分と外回りの柱割りが合っていないため、平面計画を見直すべきではないか。	<p>平面計画は、市民の皆様の利便性や執務の効率性、ユニバーサルデザイン等、市庁舎として、必要な諸要素を考慮し、出来得る限り、合理的かつ効率的に配置したものであり、その詳細内容についても、設計事業者と協議を重ねております。</p> <p>また、構造につきましても、大規模地震に対し高い効果がある「免震構造」を採用し、国土交通省が公共施設について定める、「官庁施設の総合耐震計画基準」に則り、防災拠点にふさわしい、一般建築物の1.5倍の優れた耐震性能を確保する計画としています。</p>

(4) 利便性を高めた来庁者駐車場

① 駐車場の規模・台数

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
64	立体駐車場は、大き過ぎるくらいでも十分か不足すると思うので、多くを収容できる駐車場としてほしい。	新庁舎の来庁者用駐車場は、隣接する立体駐車場に、現在の本庁舎と南庁舎を合わせた274台分を上回る、393台分を整備する計画です。
65	メディアコスモスの人気が高く、現在も駐車場がいっぱいですが、この場所に新庁舎をつくり、新庁舎の立体駐車場だけで両施設の駐車需要を賄おうとすると、スペース不足だ。そこで、現状の駐車可能台数+新庁舎必要台数を考慮した立体駐車場をつくるか、新庁舎の建設場所の移動を検討すべき。	<p>一方、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の来館者用駐車場は、これとは別に、旧岐阜県庁舎の北側に立体駐車場で、301台分を整備する計画です。</p> <p>それぞれの駐車台数は、設計に先立ち、現庁舎の駐車場の利用状況等を詳細に調査・分析した上で、混雑の解消等に必要な台数を算定したものです。</p>
66	コンパクトシティを目指す岐阜市として、高齢化していく中で、交通手段を今後どうしていくかのビジョン（下記）にのっとり、駐車場は、新庁舎とメディアコスモスを含め	また、駐車場の規模については、①市民アンケートの結果、自家用車による来庁者が7

	<p>て1か所とすることで、その規模を減少させてほしい。</p> <p>〔ビジョン例〕 JR岐阜駅から長良メモリアルセンターへのルートウォーキングゾーンとし、要所バス停をポイントとして無料シャトルバスを導入し、自家用車が必要な方のみ駐車場を利用する。</p>	<p>割を超えていること、②しばしば路上に入庫待ちの車両が並んで近隣住民の皆様にご迷惑を掛けていること、さらには、③十分な駐車台数の来庁者用駐車場の整備を求める要望が多いことなどを踏まえると、適切な規模であると考えており、あわせて、路線バスなどの公共交通の利用促進も充実していくことが適切であると考えています。</p>
--	---	---

② バス停留所

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
67	<p>バス停留所は、公共交通の利用促進を図るため、もう少し目につく場所にあると良い。あるいは、現在の位置（立体駐車場1階）はそのまま市役所起点の系統のみに利用し、市役所を通過する系統は庁舎の南出入口の目の前にバス停を設置し、庁舎内の入ってすぐの場所に接近情報も確認できる快適な待合室を設置する。</p>	<p>新庁舎は、公共交通の利用促進や利便性の向上を図る観点から、路線バスの停留所を隣接する立体駐車場の1階に設ける計画としています。</p> <p>多くの方に公共交通を利用していただけるように、快適な待合空間の整備、新庁舎までの通路に雨を防ぐ屋根や、発着情報等を表示するバスロケーションシステムの設置など、バス利用者の利便性や快適性の向上に努めるとともに、バス事業者と周辺のバス路線の利便性向上についても協議・検討していきたいと考えています。</p>
68	<p>立体駐車場内にバス停留所を2カ所設けているが、1カ所だけにできると思う。立体駐車場内に北から南に行くバス停留所だけを設け、この立体駐車場の東側の道路に南から北行きのバス停（ひさし付き、新庁舎への導入路付き）を設けたらどうか。バスの停留空間を減らすことで、少しでも自動車駐車場が増やせ、耐力壁を設けることができると思う。</p>	<p>新庁舎におけるバス停留所は、路線バスが、車道に停留することによる渋滞を引き起こさず、また、利用者にとって、快適な待合スペースが確保できるよう、立体駐車場の1階に2カ所設ける計画としています。</p> <p>なお、来庁者用の駐車台数（393台分）は、現庁舎の駐車場の利用状況等を、調査・分析の上、必要な台数として算定したものであります。</p> <p>また、駐車場の耐震性は、構造上必要とされる強度を確保しているため、さらに耐力壁を追加する必要等はないと考えています。</p>
69	<p>連節バスを駐車場内に入れることで、バス専用の開口部が大きく開ける結果となり、東</p>	<p>新庁舎の立体駐車場は、新庁舎建設地の南側に位置する民有地を活用し、新庁舎とともに</p>

	<p>側の景観がどのようになるのかが不安。また、道路との高低差をどのようにクリアするか、乗客の揺れなども考えると、道路上にバスを寄せる空間を作り、バス停に屋根などを設置する形ではできないか。</p>	<p>に大きく南側へ寄せ、旧岐阜県庁舎など周辺環境との調和に配慮しています。</p> <p>(当初計画約 23m→見直し後：約 51m)</p> <p>いただいたご意見を参考に、さらに東側の空間を拡張し、景観に配慮するとともに、往来車両の安全性を向上させるため、立体駐車場の形状を見直し、その北面を、さらに約 5 m南側へ下げよう、基本設計（案）の修正を行いました。</p> <p>(約 51m→再見直し後：約 56m)</p> <p>なお、東側の市道からの乗入口は、揺れが生じるような段差は設けないため、快適にバスをご利用いただけるものと考えています。</p>
70	<p>バス停留場について、朝 7 時～10 時、夕方 4 時～6 時は日頃から通勤通学による混雑があるため、このバス停留場の乗降で、岐阜駅方面へ向かう時間がこれまで以上にかからないよう配慮してほしい。例えば、現在作られている「メディアコスモス前」の停留場の活用など。</p>	<p>新庁舎を含む周辺のバス路線については、より多くの市民の皆様が公共交通機関を利用していただけるよう、いただいたご意見も踏まえながら、バス事業者と協議し、運行ダイヤの検討や周辺の環境整備に取り組んでまいります。</p>
③ 庁舎と駐車場の間の通路		
NO.	<p>いただいたご意見（要旨）</p>	<p>岐阜市の考え方</p>
71	<p>1 階の平面では、車道と歩道がクロスしており、動線上危険ではないか。</p>	<p>新庁舎と立体駐車場の間の道路は、1 階のハートフル駐車場の利用車両や、物品等を搬入する業務関係車両など、限られた車両が通行する予定です。</p>
72	<p>新庁舎と立体駐車場との間に自動車動線があるが、このような設計にしない方が良く思う。駐車を終えて 1 階東から入ろうとした来庁者が、車に気づかず事故の危険性が高い（見通しが悪い）。庁舎南側の車寄せの車は、南側の県道に出すようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、さらに歩行者の安全性を向上させるため、立体駐車場の設計案を見直し、①駐車場の位置を東側に寄せて見通しの改善を図るとともに、②業務関係車両の駐停車場所を離す、さらに、③南側の横断歩道の位置を、南側へさらに約 6m寄せるなど、基本設計（案）の修正を行い、さらに見通しの確保を図りました。</p> <p>また、これらに加え、庁舎周辺の安全性をさらに向上するため、車両や歩行者の存在を</p>

		知らせる設備や、通行車両の速度抑制策などを検討してまいります。
73	<p>駐車場と庁舎の間の空間が「薄暗い自動車優先の場所」になってしまわないか危惧する。建物の形状や柱の間隔・形状、舗装材の色などを工夫し、少しでも明るい空間になると良い。また、歩行者空間を広めにとり、横断歩道では必ず歩行者優先になるような通行空間を作してほしい。</p>	<p>先に実施した市民アンケートの結果によると、現在、自家用車による来庁者が7割を超えており、新庁舎において、新庁舎と立体駐車場の間の連絡通路は、大勢の方が通行する主要な動線になると想定されます。</p> <p>今後の実施設計においても、歩行者の安全確保を第一にしながら、段差解消はもちろんのこと、照明やサインなどにも配慮し、明るく快適な歩行空間の整備に努めてまいります。</p>

④ 駐車場北側の形状

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
74	<p>立体駐車場について、歴史的価値の高い北側の旧岐阜県総合庁舎の景観に配慮すべき。市庁舎北側のラインと駐車場北側のラインをそろえ、高さは旧総合庁舎より低くし、みんなの広場への東側の入り口や旧総合庁舎に圧迫感がないようにしてほしい。また、緑化を図ることなので、ぜひ、壁面緑化ができるような構造にしてほしい。</p>	<p>新庁舎は、旧岐阜県庁舎の近くに建設する計画であるため、昨年から、旧岐阜県庁舎やその周辺に対する影響等について、岐阜県と協議を重ねています。</p> <p>岐阜県との協議を通じていただいた意見や要望を踏まえ、建設地南側の民有地を活用して、新庁舎とともに、立体駐車場を大きく南側へ寄せるなどの配慮をしています。</p>
75	<p>立体駐車場が東側に膨れ上がり、広場からの視線を妨げている。また、旧県庁舎前が裏側に感じられる。さらに、北側に飛び出しているため、広場や屋上緑化からの視界を妨げている。</p>	<p>今後も引き続き、必要に応じて岐阜県と協議を行うとともに、周辺環境との調和の観点から、新庁舎や立体駐車場の壁面緑化などについても検討してまいります。</p>

⑤ 駐車場利用方法等の工夫

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
76	<p>現在市役所に車を止める時は、係の人がいて、空きスペースがあり、すぐ駐車できるので安心して用事ができる。しかし、去年9月27日（日）にメディアコスモスに車を止めようとしたら、なかなか空きがなく、帰る時は渋滞で出るのに時間がかかった。そこで、新庁舎になってからも、今と同様、すぐに駐車</p>	<p>新庁舎の来庁者用駐車場は、隣接する立体駐車場に、393台分を設ける計画です。</p> <p>また、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の来館者用駐車場は、旧岐阜県庁舎の北側に立体駐車場を整備し、301台分を設ける計画です。</p> <p>これらの駐車場の整備により、混雑解消が</p>

	スペースが見つかり、帰りもスムーズに出られるようにしてほしい。	図られ、快適に各施設をご利用いただけるものと考えています。
77	外見的には健常者と変わらない難病患者も安心して駐車出来るように、当面はハート・プラスマークの標識をつけた駐車スペースを設け、その標識に難病患者や内部障害者も駐車できることの説明を付して下さい。	また、障がい者や高齢者、妊婦、子ども連れの方々等のためのハートフル駐車場については、本庁舎の現行7台分から27台分へと、拡充を図るとともに、立体駐車場の1階から3階には、エレベーターを設置し、さらに、新庁舎と屋根付きの連絡通路で接続し、雨に濡れないなど、利便性の向上を図っています。 なお、ハートフル駐車場は、これを必要とする方々が必要なときに円滑に利用できるよう、今後も、障がい者関係団体等にもご意見をお伺いし、標識やサイン等の整備、完成後の運用などについて、引き続き検討してまいります。
78	精神障がいの方は、年金収入（月6万）だけの方がほとんどである。そのため、手帳を見せれば駐車場を無料にしてほしい。対人の苦手な人が多く、車は運転できるが、公共のバスに乗れない人が多い。	新庁舎の駐車場の料金徴収については、近接する、ぎふメディアコスモスの駐車場との関係もあり、現時点では、正式に方針を決定しておりません。 市庁舎という公共施設の特性を踏まえ、市民の皆様の利便性の向上に繋がるよう、慎重に検討してまいりたいと考えています。

⑥ 駐車場その他

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
79	駐車場について、1) 立体駐車場に屋上駐車場を設けてほしい、2) 駐車場の通路（上階へのスロープ含む）及び駐車スペースはゆとりのある広い設計としてほしい、3) 可能であれば平面駐車場を残してほしい。	立体駐車場の屋上階につきましては、屋根がないなど、来庁者の利便性に劣るため、災害時に出勤する緊急用公用車などの駐車場とする計画です。 自動車の動線については、出来得る限り、車種別に分離するとともに、駐車スペースや車路の幅員、勾配等についても、運転技能を問わず、誰もが利用しやすいよう配慮した計画としています。
80	立体駐車場について、ハートフルやバスとの動線は大丈夫か。照明は暗くないか。トイレはあるのか。軽自動車と普通自動車は分離しているか。駐車幅はどれだけか。	また、立体駐車場内の照明についても、安全性の向上のため、照度に優れた製品を導入してまいります。

		<p>なお、立体駐車場におけるトイレの整備については、いただいたご意見も参考にして、駐車場や路線バスの利用者の利便性の向上のため、駐車場の1階に、男女別トイレとともに、多目的トイレを整備するよう、基本設計(案)の修正を行いました。</p>
81	<p>駐車場を利用する来庁者も多いと考えられるため、駐車場から渡り廊下を通過して使用する出入口付近(2階、3階)、もしくは入って直進したエスカレーター付近などにも、総合案内(総合案内に準じるもの)を設置してほしい。</p>	<p>先に実施した市民アンケートでは、7割を超える方々が自家用車で市役所に来庁されているとの回答結果や、今回いただいたご意見も参考にして、新庁舎の2階東側出入口の直近に、新たに案内窓口を追加するよう、基本設計(案)の修正を行いました。</p> <p>なお、新庁舎の低層部には、これらの総合案内とともに、現庁舎と同様に、窓口などがわからずに迷われている方々などの誘導や補助を行うため、コンシェルジュを複数名配置し、迅速で、わかりやすい案内に努める予定です。</p>
82	<p>立体駐車場は本体にくり入れて土地の有効活用をはかる。庁舎よりも駐車場が広いのはおかしい。本末転倒だ。独立建物とせず、本体に入れ込んだ地下駐車場にすべきである。水位の関係で地下が不能の場合は、本体の一部に設けること。外観上はどこが駐車場か判らなくて良い。これで景観が良くなる。</p>	<p>新庁舎の駐車場の建設地は、本市の地勢上、地下水位が浅く、工事に伴う地下水の湧出への対策などで、建設コストが大きく嵩むことから、地下駐車場ではなく、立体駐車場とする計画としています。</p> <p>なお、新庁舎と駐車場を一体化した建物を建設することは、関係法令の様々な規制に適合させるため、別々に建設する場合と比較して、建設コストが大きく膨むため、合理的ではないと考えています。</p>
83	<p>東側駐車場の上部空間がもったいないように感じた。執務棟を駐車場上部に建設できれば、低層でも本庁舎ができると思う。</p>	<p>なお、交通渋滞を防止する観点から、周辺道路を含む動線計画に配慮するとともに、東側の市道については、今後、道路改良を行う計画です。</p>
84	<p>立体駐車場は、交通渋滞が激しくなり、また、故障リスクもあるため、不便である。</p>	
(5) 配置計画その他		
NO.	いただいたご意見(要旨)	岐阜市の考え方
85	<p>庁舎南側は、開放的な広場などの空間とした方が美しく見える。設計案にあるタクシー</p>	<p>本市の顔である中心市街地方面に位置する、新庁舎の南側部分は、新庁舎のみに留ま</p>

<p>や車寄せなどの車によるアプローチは、東側駐車場部分に集約することで、かまぼこ型の植栽部分がデッドスペースとならず、また、歩道と庁舎が分離する前時代的なイメージが解消され、さらに、庁舎と駐車場の間の車路をつくる必要がなくなる。</p>	<p>らず、「つかさのまち」全体の顔にあたると思っています。</p> <p>そのため、南側部分は、中心市街地の都市的景観と調和するとともに、正面性を感じさせるメインエントランスや、タクシーや送迎車などが乗り入れることができるアプローチを設え、市庁舎の正面玄関に相応しい形にしたいと考えています。</p> <p>一方、新庁舎の北側は、「みんなの広場 カオカオ」を、現状の約 1.7 倍に拡張するとともに、この広場に面して、市民交流スペースや、屋外テラスを備えたレストランなどを配置し、ぎふメディアコスモスと連携して、相乗的なぎわいの創出に繋がる、開放的な空間とする計画としています。</p>
---	--

P5 低層部（1～3 階）の平面計画

(1) 平面計画の考え方

① 市民にわかりやすい窓口

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
86	<p>窓口サービスの利便向上について、現状どのような問題があるのか。また、来庁者が迷うことなく利用できるには、窓口業務を同一フロアで収めるべきであり、案内は床に目的の部署への指定方向を色分けして誘導する、エレベーター等は建物中央に配置し 360 度窓口が見渡せるようにする、などによって来庁者の移動は少なく済むと思う。</p>	<p>新庁舎の 1 階から 3 階の低層部には、市民の皆様の利便性を高めるため、窓口部門として、取扱業務の種類や性質にあわせて、各階に、これらを集約して配置する計画です。</p> <p>具体的には、1 階は、戸籍や転入転出などの手続きや、住民票・税の証明窓口、障がい者、高齢者、福祉医療の窓口を配置し、あわせてワンストップサービスの提供に努めます。</p> <p>また、2 階には、国保年金や介護、子ども・子育ての相談のほか、住宅・水道などの窓口、3 階には、納税や生活保護、就労相談といった、特にプライバシーに配慮した相談窓口を、それぞれ配置します。</p> <p>各窓口等への誘導案内やサインについては、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もがわかりやすいものとなるよう、引き続</p>

		き検討を重ねるとともに、窓口などがわからずに迷われている方々などの誘導や補助を行うため、コンシェルジュを複数名配置する予定です。
87	カウンターから執務室までがオープンでは、来訪者の相談個人情報を持することができない。例えば、ある都市では、カウンターと職員が近すぎ、話が漏れてしまっている。一方、相談窓口と執務室が分離していると、迅速な職務対応ができない。	<p>新庁舎では、プライバシー性の高い相談に対応するため、特に窓口部署を集約する1階から3階に、豊富な個室相談室を設置する計画としています。</p> <p>(庁舎全体では全46室：低層部は33室)</p> <p>なお、カウンターについても、出来得る限り、1席あたりのカウンターの幅を広くするとともに、配置や備品の工夫も講じ、周囲からの視線の遮蔽や、会話の内容が漏れないよう、プライバシーの確保に配慮してまいります。</p>
88	窓口で音声認識ソフトUDトークアプリを入れたiPadを置き、聴覚に障がいを持つ方へのバリアフリー化を進める。	<p>平成28年4月に障害者差別禁止法が施行されること等を踏まえ、ハード・ソフト両面において、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮し、誰もが使いやすい新庁舎となるよう努めてまいります。</p> <p>個別的な設備機器の導入は、平成28年度の実施設計や、新庁舎の運用の検討において、考えてまいります。</p>

② 市民に開かれた多様なスペース

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
89	1階エントランスモールは「市民の広場」などの名称として、公益団体が行う相談会の開催、市民の発表会、表彰式、出発式などが催せるなど、余裕あるスペースとしてほしい。	<p>1階中央部のエントランスモールには、吹抜けを設け、開放感や視認性を高めるとともに、ゆとりある待合スペースや通路とするため、余裕のある空間を確保しています。</p> <p>(南北約56m×東西15m)</p> <p>また、北東角に設ける市民交流スペースとともに、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場 カオカオ」と連携し、このモールでも、様々なミニイベントを開催するなど、にぎわい創出のための空間としても、積極的に活用してまいりたいと考えてい</p>

		ます。
90	新庁舎で障がい者が働く場を確保するため、「(仮称)市民ふれあい交流サロン」として一画を共有スペースとして確保し、福祉作業所で製造した商品の販売、聴覚障がい者が健聴者と共に働ける理容室の設置などを進める。	本市では、「誰もが自立してともに暮らすまち」の実現を目指し、障がい者施策の推進を図っております。 障がいのある方が自立した生活をおくるにあたって、就労は大変重要な要素であると認識していますので、新庁舎における就労支援について、他都市の事例等を研究してまいりたいと考えています。
91	住民説明会が開ける部屋(100人前後)があると良いと思う。現在の市庁舎大会議室のようなものが欲しい(同時にこの部屋は、夜間や休日に利用できるよう、出入口を考える必要がある)。もし1階にある市民交流スペースがこの目的ならば、現状では狭いので、コンビニをなくしてその分だけ広く利用した方が良いと思う。	新庁舎では、現行と同規模程度の大会議室を6階に設ける計画としており、大規模な会議や市民説明会等が開催できるよう、配慮しております。 なお、大会議室までの動線や空調の制御等については、閉庁時にも快適に利用していただけるよう、運用面とあわせて、引き続き、検討してまいります。
92	多目的な会議室がないが、閉庁日でも冷暖房の使える講堂は、市民の行政に対する協力のためには必要なので、作ってほしい。	
93	市政や市役所の各部署の仕事やサービス内容について説明を受ける学習室・研修室を設置する。主権者教育の一環で、できれば市議会会議場に隣接する場とする。	新庁舎には、多様な会議室等を整備する予定であり、用途や利用人数にあわせて、適切に会議を開催できる計画としています。 なお、会議室等は、昨年8月に開催した市民ワークショップでいただいた提言等を踏まえ、極力、特定の用途の専用室は設けず、多用途で共用を基本とする計画としています。
94	携帯電話が掛けられる場所、又インターネットブースもほしい。	携帯電話は、新庁舎のいずれのフロアにあっても快適に使用できるよう、所要の整備を行ってまいります。 インターネットブースは、現在、特定の箇所に設置することは予定しておりませんが、携帯端末によるネット利用の普及等を踏まえ、無料WiFiの設置を検討してまいります。
95	市庁舎1階の全床を提供し、付近住民に生	新庁舎の機能については、これまで市民の

	<p>活必需品等を供給する企業（デパート、スーパー）を誘致する。</p>	<p>皆様の意見等をお伺いし、平成 26 年 12 月に「岐阜市新庁舎建設基本計画」を策定しましたが、同計画において、デパートやスーパー等の導入は予定しておりません。</p> <p>しかし、高齢化社会の到来とともに、全国的に、中心市街地において、生鮮食料品等の入手が困難となる、いわゆる「フードデザート問題」も生じており、今後も引き続き、身近な地域で、生鮮食品等が購入できる拠点の創出や、誰もが自由に移動できる交通環境の整備などに努めてまいります。</p>
--	--------------------------------------	--

③ 市民の誰もが使いやすい新庁舎

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
96	<p>今後、高齢化社会が訪れるので、来庁者が使いやすい機能を取り入れた新庁舎とする。特に、福祉的なことも充実させ、トイレやエレベーターなどは広くスペースを取り、ひとつひとつの文字の標も見やすく高齢者にもわかりやすくしてほしい。</p>	<p>新庁舎は、トイレや通路、待合スペース等の設置にあたって、誰もが使いやすい、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、様々な配慮を行っています。</p> <p>今後とも、引き続き、庁舎の利用にあたり、特に配慮が必要となる、障がい者や高齢者、子育て世代、外国人の方々のご意見などを十分にお伺いしながら、ハード・ソフト両面において、すべての人にやさしい庁舎となるよう、サインや標識等の整備も含め、十分に検討してまいります。</p>
97	<p>トイレがせまく暗くないか。図書館は問題だらけではないか。</p>	
98	<p>出入口の階段には出来るだけ“スロープ”を取り入れ、また室内も“段差”でなく“スロープ”にしてほしい。</p>	
99	<p>子育てにやさしいといくつもの授乳室やキッズルームがあるが、市民の利用する窓口であれば充分である。多目的に使えるトイレは各階に作ってほしい。</p>	<p>新庁舎においては、本年 4 月の「障害者差別解消法」の施行や、高齢化の急速な進展、さらには、子育て支援の重要性などを踏まえ、市民の皆様の快適性の向上のため、バリアフリーやユニバーサルデザインの充実を図ることを掲げています。</p> <p>授乳室は、多くの市民の皆様の利用が見込まれる、1 階から 3 階の各階に、2 室ずつ設けるとともに、特に子ども連れの方の利用が多く見込まれる 2 階には、安心して手続きを行っていただけるよう、キッズルームやキッズスペースを整備する計画です。</p>

		<p>一方、障がいのある方や、子ども連れの方など、誰もが使いやすいよう、多目的トイレについては、1階から3階の各階は、男女別を各1か所、共用を1か所の合計3か所を設けるとともに、新庁舎全体で23か所、また立体駐車場にも1か所の計24ヶ所の多目的トイレを整備する計画としています。</p>
100	<p>1階から3階にあるエスカレーターは、建設費と維持費を抑えるため、取りやめたらどうか。近くに階段やエレベーターがあるため。</p>	<p>フロア間の主要な移動手段は、階段やエレベーター、エスカレーターが挙げられますが、それぞれについて、使いやすい人、使いにくい人がおみえになります。</p> <p>市役所は、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、多様な方々が利用する施設であり、誰もが容易で安全にご利用いただけるよう、様々な移動手段を設けることが必要であると考えています。</p> <p>一方で、ライフサイクルコストの抑制の観点から、より低コストで整備や維持ができるよう、それぞれの設備の規格等について、引き続き検討してまいりたいと考えています。</p>
101	<p>外国人に対する多言語や多文化の配慮を入れていただいた方がいいと思う。例としては、案内図や看板などをやさしい日本語で書いたり多言語で表したりするとありがたい。</p>	<p>新庁舎における標識やサイン等については、多言語表示や、ピクトサイン（図記号）の活用、音声による案内など、施設を利用されるすべての方々が、目的の場所まで容易に辿り着け、快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインの視点から十分に配慮してまいります。</p> <p>基本設計の作成に先立ち、外国人の方々と意見交換も複数回開催しており、いただいたご意見を有効に活用していきたいと考えております。</p>
102	<p>各階にAEDを設置する。</p>	<p>AED（自動体外式除細動器）は、重度の不整脈（心室細動）に対し、一時的な電気ショックにより不整脈を改善する装置です。</p> <p>心室細動に対し、AEDの活用は、死亡者数の減少に大きく貢献するものです。</p>
103	<p>1階のエントランスモールには、救急用の酸素などの供給口を壁に数箇所設置する。また、担架も用意する。</p>	

		<p>本市では、A E Dの公共施設等への設置を積極的に推進しており、新庁舎についても複数台の設置を計画しています。</p> <p>その数量や設置場所、あるいは、A E D以外の救急用医療設備の導入については、引き続き、その必要性や費用対効果等を勘案しながら、関係部署と検討してまいります。</p>
④ 喫煙室を設置すべきでない		
NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
104	<p>喫煙室について、多くの自治体で建物内禁煙および敷地内禁煙が実施される中、「スマート・ウェルネスで医療・健康立市へ」を謳っている岐阜市では、市庁舎内に設けられないようにしてほしい。</p>	<p>現在、他人のたばこの煙を吸わされる、いわゆる「受動喫煙」の防止については、平成15年に施行された健康増進法により、多数の者が利用する施設の管理者は、受動喫煙を防止するための措置を講ずるよう規定されたものの、罰則のない努力義務に留まっています。</p>
105	<p>新庁舎に喫煙室を設置する案があると聞いたが、喫煙室による分煙が、喫煙率低下や受動喫煙防止に効果が無いことはこれまでに多くの研究で証明されている。喫煙室を設置することになると、医療健康立市が名ばかりであると岐阜市の社会的評価とイメージの低下につながりかねない。</p>	<p>そのため、現在、国におきましては、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備の一環として、施設管理者に実効性のある対応を求める観点から、罰則など強制力を伴う新法の検討が進められているところです。</p>
106	<p>どのような喫煙ブースが出来ても、ドア開閉により周囲への煙害は発生するので、建物内の喫煙ブースは設置すべきではない。厚生労働省も健康局長通知で「少なくとも官公庁は全面禁煙とすべき」ことを示し、すでに、半数以上の自治体が建物内・敷地内禁煙となっている。</p>	<p>また、中核市においても、市庁舎を含む公共施設の施設内、又は敷地内の禁煙を実施している自治体が4割に達するとともに、喫煙タイムの導入や、禁煙支援のための職員研修の実施など、多角的な取り組みが進められています。</p>
107	<p>市民の健康や福祉を考える新庁舎には、決して、喫煙室は作らないようにしてほしい。喫煙は、健康を阻害する因子であることは医学研究で明らかで、非喫煙者のためばかりでなく、喫煙者のためにこそ、未来にむけての岐阜市のシンボルとなる新庁舎は建物内禁煙とすべき。</p>	<p>本市におきましては、重要政策の核の一つとして、「医療・健康立市」を掲げるとともに、平成14年に「ぎふ市民健康基本計画」を策定し、市民の皆様の健康増進に関わる様々な指標について目標値を掲げ、その達成に向けて多様な事業や啓発を展開しています。</p>
108	<p>世界の常識として敷地内禁煙と禁煙支援で</p>	<p>本年3月末に公表した、新たな「第三次ぎふ市民健康基本計画」では、受動喫煙を取り巻く状況の変化も踏まえ、平成32年度までに、</p>

	ある。スモーカーが禁煙できなくなり、かつ受動喫煙を避けられない。維持管理に高額な費用と時間を必要とする喫煙室や喫煙コーナーを設置することがないようにしてほしい。	市有施設における施設内禁煙率を現状の91.0%から100%に、また、敷地内禁煙率を現状の46.0%から70%に、それぞれ改善する目標を掲げています。
109	庁内に喫煙場所があるのは好ましくない。昨今、大学や病院、その他公共の機関・施設において敷地内禁煙が推進されているが、「喫煙」のきっかけは環境が重要とされているため、ぜひ、ヘルスポリシーを貫いていただきたい。	このため、新庁舎における建物内禁煙の実施は、不可避であると考えています。 一方で、喫煙をする来庁者の方々のことも考慮する必要がありますので、敷地内喫煙につきましては、平成27年8月から、新庁舎敷地やその周辺が、路上喫煙禁止区域に指定されていることを踏まえ、国の法改正の動向等も注視し、また、市民の皆様の御意見等を御参考にしながら、今しばらく検討を重ねていきたいと考えています。

(2) 1Fフロア配置

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
110	1階西側の相談カウンターが、蛇のように配置（デザイン重視）されているが、もっとすっきりした（機能重視の直線状）方が良いと思う。庁舎1階は、来庁者や執務者にとってもできるだけ無駄のない有効な空間利用を図ってほしい。	新庁舎の1階から3階までの低層階のフロアは、1階には、市民の皆様の各種手続きや証明窓口とともに、障がい福祉・高齢福祉・福祉医療の窓口を、また、2階には、国保年金や介護保険、子ども・子育て等各種の相談窓口を、そして、3階には、特にプライバシーの高い相談の窓口として、諸税や生活保護、ハローワークの窓口を設ける計画としています。 また、各フロアのカウンターの配置や形状などについては、限られたスペースの中で、市民の皆様の利便性やわかりやすさを高めるとともに、職員の業務効率も考慮しながら、検討し、このような計画としたものです。 今後も引き続き、市民の皆様の利便性をはじめ、様々な観点から検討を重ねてまいります。
111	障がい者の利便性に配慮した各課配置と動線確保を進めるため、福祉部局は1階に配置し、バリアフリーと誘導ブロック・注意ブロックを設置する。	新庁舎では、庁舎の利用にあたり、特に配慮が必要である、障がい者や高齢者の方々の利便性の向上の観点から、障がい福祉課、高齢福祉課、福祉医療課を、低層部1階に集約

		<p>して配置する計画としています。</p> <p>なお、ユニバーサルデザインやバリアフリーについても、多目的トイレや、ハートフル駐車場の充実をはじめ、障がいの有無等に関わらず、誰もが利用しやすい庁舎となるように配慮した計画としています。</p> <p>誘導ブロック等の安全設備については、今後の実施設計において、引き継ぎ、障がい者団体等から、ご意見をお伺いしながら、その仕様等を検討してまいります。</p>
112	<p>閉庁日（開庁時間外）にも利用できる届出窓口、自動交付機、金融機関（年末年始）等は、出入口からできるだけ動線が短くなるように配置するなど、セキュリティ対策をしっかりとしてほしい。</p>	<p>市庁舎のセキュリティの改善は、現庁舎が抱える大きな課題の一つであります。</p> <p>新庁舎については、現庁舎における課題等を十分に検証し、市民の皆様の利便性と両立を図りながら、設備面と人的対応の両面から十分なセキュリティ対策を講じてまいります。</p>
113	<p>1階に2箇所ある総合案内所は、1箇所だけにしたらどうか。来庁者の視線や動線が最も集まる場所（エントランスモール内で東側からの通路と交差する場所）に設けるだけで良い。</p>	<p>新庁舎の低層部は、①現在の本庁舎よりもフロア面積が拡大し、出入口の数も増えること、②様々な窓口機能を集約すること、③現在分散している5つの庁舎を集約することで様々な会議や催しが新庁舎で行われることなどを踏まえ、市民の皆様の利便性の向上を図る観点から、1階に2ヶ所、2階に1ヶ所の計3ヶ所の総合案内を設ける計画としています。</p>
114	<p>1階の指定金融機関スペースとATMコーナーは近接した方が、何かと利便性が良いと思う。</p>	<p>指定金融機関と郵便局、また、複数の金融機関のATMコーナーの配置は、フロアの構成や動線、閉庁時の利用、セキュリティなど多角的な観点から検討し、市民の皆様の利便性の向上のため、このような配置としています。</p>
115	<p>コンビニエンスは、特に必要はなく、代わりに自販機を適宜設けて対応すれば良いと思う。</p>	<p>現庁舎地下階にある購買売店の利用状況等も踏まえ、市民の皆様のニーズや、職員の飲食物の購入に対応するには、飲み物を主とする自動販売機のみでは対応が困難であるため、コンビニエンスストアの設置が必要と考</p>

		えています。
(3) 2F フロア配置		
NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
116	1階にコンビニがあり、2階にレストランがあるが、県のふれあい会館のように同じ階にしたほうが、市民が便利に活用できるのではないか。	<p>新庁舎の低層部の各フロアの配置は、限られたフロアの中で、まず第一に、行政機能たる窓口部署を配置した上で、市民の皆様の要望が多かったレストランやコンビニエンスストア等の利便施設を、出来得る限り、その利便性が向上するよう配置を考えました。</p> <p>不特定多数の利用者が想定されるコンビニエンスストアは、最も多くの人々が集まる1階の市民交流スペースに隣接して設置し、また、レストランは、金華山や「みんなの広場カオカオ」を臨む開放的なテラスと一体的な形で、2階に設けることにより、それぞれの利便性や快適性の向上を目指しています。</p>
117	1階の授乳室は2階のキッズルームと隣同士にした方が良いと思う。また、2階のキッズコーナーは執務空間に入り込んでいない方が良いと思う。	<p>授乳室やキッズルーム、キッズコーナーは、それぞれの用途や利用する子どもの年齢層を勘案し、保護者の方々の使い勝手や利用のしやすさ等を踏まえ、配置しています。</p> <p>また、キッズコーナーの形状は、子ども連れの方々の利用が特に多い、子ども未来部の窓口において、小さなお子さんの様子を確認しながら、安心して、さまざまな手続きが行なえるように配慮したものであり、現庁舎の子ども未来部のキッズコーナーも、多くの小さなお子さんが利用されています。</p>
118	2階、3階の待合椅子が吹き抜け沿いにしかない様だが、高所恐怖症なので吹き抜けガラス近くだと怖い。また、ガラス近くだと、子どもの落下や物の投げ入れのおそれがあり、危なく感じる。そこで、吹き抜けを天井までガラス張りにするか、吹き抜け沿いの一部にアクアリウム(鮎の生態)のモニター、水槽、植物を置くなどしてほしい。	<p>低層部2階や3階の吹き抜けの安全対策については、今後の実施設計において、所要の対策を十分に検討してまいります。</p> <p>待合椅子の設置場所や、吹き抜けのガラスの高さや形状等については、いただいたご意見も踏まえながら、所要の検討を図り、来庁者が安心してご利用いただける空間となるよう配慮してまいります。</p>
119	「吹き抜け」を設ける理由は何か。このよ	低層部の吹き抜けは、開放感や採光の確保、

	うな「無駄なもの」は省くよう要望する。 市民の税金で建設する公共施設に対する経済性、効率性、機能性の感覚からは「吹き抜け」は不要な長物である。	圧迫感の軽減、さらには、見通しを良くして、上下階の窓口などの場所を把握しやすくするなど、様々な効果が期待できるため、これを設ける計画としています。
120	3階までの吹き抜けは不要。病院等で3階以上の吹き抜けに面する1階ロビーは冬場は寒くてしかたがない。	また、庁舎全体で、効率的な冷暖房設備や、出入口からの外気の侵入を抑制する風除室の整備など、今後の実施設計や、運用において工夫を講じ、快適な空間の創出に努めてまいります。
121	吹き抜けが2～3階に多いのが気になる。南・北の吹き抜けを止め、フロアとして有効活用を図った方が良いと思う。	

P6 執務部門（5～18階）の平面計画

(1) 平面計画の考え方

①-1 フロア全体がフレキシブルな空間〔エレベーターの配置や基数〕

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
122	エレベーターはすべて1階～18階になっているが、5～18階に7基も必要なのか。エレベーターを上層と下層を分離してはどうか。	エレベーターの設置台数は、来庁者数や職員数等を踏まえ、その輸送量や混雑する時間等を勘案し、決定したものです。
123	エレベーターの利用が多くなる朝一番や昼食の時間帯に、長時間待たされることが考えられるため、その対策として、下層階から上層階への高速エレベーターを設置してはどうか。	なお、各階の配置職員数の算定結果を踏まえ、多数の利用者が集中する時間帯は、エレベーターの制御や運用によって混雑の緩和や、待ち時間の短縮を図ってまいりたいと考えています。
124	エレベーターを5台並列すると、ボタンを押しても気が付かないほど遠くなり、利便性に欠けるのではないか。	エレベーターの到着や、どのエレベーターが到着するかといった情報は、到着灯やチャイム等を整備し、利便性を確保していきたいと考えています。
125	(5階以上の)階段やエレベーターを東と西に分け、階段には窓を設けて採光することで、明るく見やすい階段に出来ると思われ、また、安全な逃げ道の確保もできるのではないか。そして中央部には書庫を配置すれば良い。	新庁舎は、各階のエレベーターやトイレ、機械設備等を、建物の中心部に配置する「センターコア方式」を採用しています。 この方式により、施工のパターン化、省スペース化、コンパクト化とともに、建設コストや維持管理費の縮減を図っています。 なお、コア部には、消防設備や防火設備等の充実を図るとともに、区画壁で作られた防火区画や特別避難階段、強制排煙の設備を整

		備し、万が一の火災の発生に備えた計画としており、市民の皆様の安全確保に万全の配慮を行ってまいります。
①-2 フロア全体がフレキシブルな空間 [庁舎南東のエレベーター]		
NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
126	庁舎南東部に1階から4階まで同じ場所に四角い表示でエレベーターのようなものが設置されているが、もしエレベーターであれば、その利用目的を教えてください。	<p>新庁舎の南東側の2基のエレベーターは、特別職や市議会議員のセキュリティ上の観点から整備するものです。</p> <p>近年、地方公共団体等の行政機関や職員等を対象とする「行政対象暴力」は増加傾向にあり、また、悪質な要求者等による庁舎の居座りや立てこもりや、いたずら目的の脅迫事件等が後を絶ちません。</p> <p>平成25年度には、兵庫県宝塚市において、大規模な庁舎放火事件などが発生し、昨年来、茨城県高萩市や千葉県千葉市、長崎県諫早市、福岡県中間市において、市長室や議会棟に男性が侵入し、立てこもる事件や暴行を加える事件が発生しています。</p> <p>行政需要が増大し、これまで以上に数多くの人々が、庁舎を訪れる一方、社会情勢や治安が不安定な中、特別職や市議会議員は、重要な政策判断を行うなど、その職責は、重要なものであると考えています。</p> <p>従って、これらの職責や、市政運営に及ぼす影響等を総合的に勘案し、適切なセキュリティを確保する観点から、同エレベーターは、必要な設備であると考えており、必要最小限の規格で整備する計画であります。</p> <p>また、このような用途のみならず、低層部には、市民窓口や利便施設を集約することから、多くの職員や市民が集まることになり、万一、そこで、様々な事件やトラブルなどが生じた場合、一般の市民動線とは別に、守衛や警察、消防機関が、迅速に現場に到着する動線として利用していきたいと考えていま</p>
127	エレベーターの数は1階から3階まで、全部で9基記載されている。エレベーターを多くという希望もあるようだが、1階から3階まではエスカレーターもあるので、こんなに必要ないと思う。またEVという記載がないがエレベーターと思われるものが2基、1階の総合案内の南側（図面では下）にあるが、これは何のためのものか。	
128	エレベーターが多いように思う。エレベーターの記載のない、でもどう見てもエレベーターにしか見えないものがあるが、これはどうしてわざわざ記載していないのか。何かやましいところがあるのなら、なくすべきである。	
129	南東部分にエレベーターらしきものがありますが、表示もされず着色もされていないのは何か意図があつてのことか。推測するに、5階に市長・副市長室があり、このエレベーターは、1～5階まで2機設置され、市長、副市長、議員専用で作られているのではないか。そうであるとすれば、特権的な通路を市長、副市長と議員のために設けてあるのはおかしい。市長であろうと議員であろうと市民と同じ共用施設を使うべき。南東部分に2機のエレベーターを設置する必要性を説明してほしい。	
130	エレベーターが中心部分に5基表示してあ	

	<p>って、その他に業務用・避難用エレベーターが2基表示してあるが、東側に5階までのエレベーターが「EV」の表示もなく、ひっそりと2基備えてある。それが議員と市長と副市長の為の特権的な通路の為に設けてあるとしたら、このエレベーターの必要性はない。</p>	す。
131	<p>市長・議員専用のエレベーターが、EVと記さなくて計画してあるが、中央にあるEVで充分である。ムダな費用はかけないでほしい。</p>	
132	<p>東にある「エレベーター」2基は何のために設置するのか。これは、議員と市長、副市長専用と考えられるが、不要である。</p>	

② わかりやすくコンパクトな執務室

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
133	<p>執務部門についてシンプルでわかりやすいと思う。</p>	<p>市民の皆様によりわかりやすく、利便性が高まり、職員にとっても効率的な執務室となるよう、引き続き、執務部門の検討を進めてまいります。</p>
134	<p>「執務室」は現状と全く変わらないレイアウトだが、資料などの収納不足の問題を強調された割には、収納は何処なのか。また、現状の様に荷物・資料などが散乱し、壁には無駄な掲示類が張り巡らされ、折角の空間が現状と何も変わり映えしない様な気がする。</p>	<p>新庁舎の収納については、新庁舎の基本設計に先立ち実施した、「執務環境調査」等によって、各部署の文書量を把握し、今後、重複文書の削減などを行った上で、必要な保管量を算定しており、これに基づき、必要な容量を確保しています。</p> <p>これらの書庫や倉庫の整備と合わせ、本年2月下旬から、庁内の文書管理システムを刷新し、電子決裁を進め、文書の削減に努めていますが、さらに、今後も重複文書の削減や、保管ルールの見直し、さらには、運用面においても、執務室や廊下に不要な物を置かないよう徹底してまいります。</p> <p>また、新庁舎におけるポスターやお知らせの掲示については、美観にも配慮し、専用の掲示場所を設けるなど、快適な空間となるよう努めてまいります。</p>

③ コミュニケーションを促す吹抜

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
135	<p>「コミュニケーションを促す吹抜け」が設けられているが、高層案であるならなおさら、こうした空間がもったいないと思う。コミュニケーションを促すのであれば、吹抜けをたくさん設けるより、会議室や共用ミーティング室を増やした方が良いと思う。</p>	<p>高層部の北側に設ける多目的スペースは、市民の皆様や事業者の方々などと職員による打合せをはじめ、様々な用途に利用できる場として設けるものです。</p> <p>これらのスペースは、昨年夏に開催した、市民ワークショップの提案でいただいた、「市民と職員がフラットに対話できる交流の場」の創出や、「部署間の連携を高めることが必要」といった意見を実現するとともに、スペースの共用化といった効果が期待できます。</p> <p>なお、このスペースにおける打ち合わせは、秘匿性の高い内容を含まないものを想定しており、そのような情報を含む打ち合わせや、相談等については、近接する共用会議室や個別相談室等を利用する計画としています。</p>
136	<p>5階から18階の執務部門の下階の北東と北西にある吹抜けは、無駄だと思ふ。この空間は上階と同じように会議室にすれば、その階で利用するため、執務が非常にしやすくなると思ふ。いちいち階段やエレベーターを利用せずに済むため。</p>	<p>さらに、高層部の多目的スペースは、金華山や長良川等を望む展望スペースとして活用することも検討しております。</p>
137	<p>2階分の吹き抜けを6ブロック設けるとのことだが、職員と市民の交流スペースは低層階に集中して設け、執務スペースや会議室を十分に確保すべき。</p>	<p>この多目的スペースは、天候などに関わらず、街並みを眺望することが可能となり、展望スペースを求める市民の皆様の要望にお応えしたいと考えております。</p>
138	<p>5～18階は、吹き抜けをなくし、個室や収納スペースを多く確保したほうが合理的ではないか。上の階にも市民や業者が行くので、カウンターや多目的スペースだけでは会話が筒抜けになってしまい、また、現庁舎の廊下や室内の棚の上に荷物が雑然と置かれている状態では、大震災が起きたとき市役所が機能しなくなってしまうのではないかと不安である。</p>	<p>今後も引き続き、多目的スペースについて、市民の皆様に、その効果などを広く周知し、ご利用いただけるよう努めてまいります。</p>
139	<p>5階から18階まで、6カ所の吹抜は無駄な空間で勿体ない。床面積をふやした方が効率的であり、1階分位が産み出せるのではないか。この空間は「市民と職員のコミュニケーションを活性化する多目的スペース」とあるが、おそらく使い切れずに終わることだろう。吹抜は構造上も多額の工事費を要すると思われ、耐震上も問題がある。</p>	
140	<p>5階から18階のコーナーの吹き抜けも不</p>	

	要。それを中止して1フロア下げてください。	
141	多目的スペースが6階部分から上層に向かって6ブロックできる計画だが、1ヶ所あれば十分。執務棟のスペースは、市民・団体との相談や打合せ部屋、部局内会議や来客対応室として、真摯な執務空間を整備すべきであり、市民との交流は、1階の市民交流スペースや2階のレストラン・市民多目的スペースで十分。無駄な設計である。	
142	「多目的スペース」と聞こえはよろしいが、この位置は「執務室用の喫煙ルーム・休憩室」としか見えない。市民がどの様にそこまで行けるのか。途中の通路は狭いし、通路に面して「書庫・更衣室」などの扉が付いているのに、裏方的な空間に、市民をどの様に誘導するのか。	
143	多目的スペースを「コミュニケーションを促す吹き抜け」として設置しているが、6階から18階まで1階おきに6か所も作る必要があるのか。市民の相談・打ち合わせのためのコミュニケーションの空間は必要としても、こんなにとる必要はない。その分建設する高さを少しでも低くし、建設コストを下げるべき。	
144	基準階の多目的スペースは、執務室と隣接すべきではないか。また、共用会議室等に吹き抜けた天井は必要なのか。	<p>多目的スペースは、執務室と、一定の距離を置いて配置する計画としています。</p> <p>これらを、内容や用件に合わせて適切に使い分けることによって、様々な秘匿性の高い情報の管理や、職務に集中できる執務環境の維持といった、本来の執務室の機能が高まることが期待できます。</p> <p>また、共用会議室の天井部は、大勢の人々が集まるため、圧迫感や閉塞感を低減するとともに、北側に位置することから、採光性を確保するため、このような計画としています。</p>

145	<p>下階の多目的スペースと上階の会議室・ミーティング室をつなぐものが螺旋階段であり連続性がないのが気になる。多目的スペースが市民と職員のコミュニケーションの場であるならば、離れたエレベーターではなく会議室からバリアフリーで連続性のある構造にしてほしい。</p>	<p>2フロア毎に設置される多目的スペースに、らせん階段を設置することによって、関連の深い部局間の移動がよりスムーズになり、多目的スペースの利用の促進が、より一層図られるものと考えています。</p> <p>また、新庁舎は、バリアフリーとユニバーサルデザインを重要視し、誰もが使いやすい庁舎となるように、建物全体において様々な配慮を行っています。</p>
-----	---	--

④ 上層階への展望スペースやレストランの設置

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
146	<p>屋上又は18階の窓側等を展望室にできないか。各階の多目的スペース5ヶ所は何に使用するのですか。また、18階に集約できないか。</p>	<p>新庁舎のレストランについては、様々な行政窓口、指定金融機関や郵便局、コンビニエンスストアなどの利便施設と近接して、低層部2階に配置する計画としています。</p>
147	<p>最上階に展望スペースもしくは展望レストランやフードコートがあっても良いのではないか。18階建てという事で、周囲の景色や長良川花火も良く見えることでしょうか。観光名所の1つになるのではないか。</p>	<p>市民の皆様が訪れることが多い低層部に配置することで、レストランへの移動が容易になり、市民の皆様の利便性が向上するとともに、災害時には、1階の市民交流スペース等とともに、来庁者や帰宅困難者等の一時的な避難場所として活用することも可能となります。</p>
148	<p>もし高層にするのなら、展望レストランなど市民が楽しめるスペースを最上階に設置して欲しい。</p>	<p>また「みんなの広場 カオカオ」に面して</p>
149	<p>岐阜市庁舎の最上階にレストランができれば、メディアコスモスで一日中過ごすことができ、新庁舎のコンセプトにある「立地を最大限に活かし、にぎわいを生む魅力ある庁舎」「誰もが利用しやすい快適で安全な庁舎」を満たせると思う。</p>	<p>新庁舎の低層部には、植栽を施したテラスを整備する予定であり、レストランをこのテラスに接して配置することで、レストランがより開放的で明るい雰囲気になること、また、低層部に設けることによって、「みんなの森ぎふメディアコスモス」の来館者の方々も、気軽に訪れやすくなり、さらなるにぎわいの創出が期待できると考えています。</p>
150	<p>食堂は、見はらしの良い、まわりにある金華山なども見わたせる、展望のある最上階に作ってもらえると嬉しい。</p>	

P7-1（景観）岐阜らしい「つかさのまち」のデザインコード

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
151	<p>岐阜らしいデザインコードがどこに生かされているのか分からない。</p>	<p>新庁舎の建設を計画する「つかさのまち」は、本市の都市的景観、歴史的景観及び自然</p>

152	<p>この建物が、岐阜市のシンボリックな建物にとあるが、一昔前のオフィスビルの様になってしまうのではないかが心配だ。建物の角部が「R型」になっているが、全四隅部分「L型」ではダメなのか。隣接する図書館に多くの「曲線」が使われているから、安易に市側が設計に盛り込ませたのではないか。デザインはプロにまかせ、市側は明確なコンセプトを提示するだけで良い。</p>	<p>的景観を繋ぐ結節点に位置しています。</p> <p>これを踏まえ、新庁舎のデザインには、①長良川の水の流れの美しさと雄大さを感じさせる流線、②金華山の豊かな自然と安らぎを感じさせる緑、そして、③岐阜の伝統文化を感じさせる繊細なデザインという、「岐阜らしさ」を喚起させる3つのアイデンティティを掲げています。</p> <p>そのため、①新庁舎の外形線を柔らかな曲線とすることや、②さまざまな植栽を配した「みどりの丘」の整備、あるいは、③ぎふメディアコスモスとの調和に配慮し、新庁舎の外観を繊細な線の重なりなどで表現しています。</p>
153	<p>外観デザインは、設計案のパーズでは全く魅力というかワクワク感が無い。メディアコスモスのような著名な建築家のデザインより劣るものを造って、結果お互いのデザイン性を落としてしまうのは絶対に避けて欲しい。市民からもデザインを選ばせて欲しい。</p>	<p>そのため、①新庁舎の外形線を柔らかな曲線とすることや、②さまざまな植栽を配した「みどりの丘」の整備、あるいは、③ぎふメディアコスモスとの調和に配慮し、新庁舎の外観を繊細な線の重なりなどで表現しています。</p> <p>一方、庁舎の価値は、そのデザインのみならず、市民の皆様が開かれ、世代を超えて、大切に使い続け、愛される建物とすることも非常に重要な要素であると考えています。</p>
154	<p>全体的にパーズで魅力が伝わりにくい。基本設計なのに外観イメージがない。複数ある中から選んだ外観・内観イメージを市民に示す、あるいは市民に選択させるべきではないか。</p>	<p>従って、今後も引き続き、デザインとともに、利便性や機能面にも優れた、本市のまちづくりの新たな拠点にふさわしい新庁舎の建設に努めてまいります。</p>
155	<p>東京の大規模な再開発では、「高さ（スカイライン）の統一化」「規模」「緑地の確保」「外観の素材」「色」など、事細かく共通の取り決め事を作り、審議しながら行われている。そこまで大がかりな話ではないが、市民の為の「新市庁舎」ならば、市がこれからどのようなコンセプトで進んでいくのか、この建物がシンボル・象徴・基準になって行く様な、しっかりとした建物にしてほしい。</p>	
156	<p>外観は、ルーバー（ホワイト）を使用すれば、日照の調整、室内への反射光の取り入れなど、外観の表情に奥行きを持たせられる効果などがあると思う。一方、内部は「左官」「クロス」などの質感ありの方が良い。「金属パネル」的なものだけは止めるべき。あの目地が非常に安っぽく、結局汚れるし、目地が</p>	<p>新庁舎の外観に用いる資材等については、いただいたご意見も参考にしながら、今後の実施設計において、建設コストや、将来のメンテナンスのしやすさといった維持管理の観点も含め、検討してまいります。</p>

	劣化する。	
157	内外装のデザインは先進的近代的なものとする。また、本庁舎のプレート文字等も、習字のような古い書体ではなく、英字等（多国語）の表記も加え、ゴシック体等の方が先進的かと思う。	<p>新庁舎のデザインについては、庁舎のみならず、周辺環境との調和等にも配慮しながら検討してまいります。</p> <p>また、案内やサインについては、デザイン性ととも、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、誰もがわかりやすいものとなるよう努めてまいります。</p>

P7-2（防災）市民に安心を提供する新庁舎

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
158	地震での震動は何mくらいか。	<p>本市では、平成 24 年度に防災対策の基礎調査として、「南海トラフの巨大地震等の被害想定調査」を実施しました。</p> <p>その結果、南海トラフ巨大地震が発生した場合、市内全域で震度 6 弱以上の揺れが発生し、最大で震度 6 強の揺れを想定しています。</p> <p>南海トラフ巨大地震の発生確率は、30 年以内に 70%程度とも想定されており、防災対策の拠点となる新庁舎の建設を着実に推進していかなければなりません。</p> <p>なお、新庁舎は、地震による構造体の損傷を防ぎ、迅速で切れ目のない災害対応や復旧・復興活動が行えるよう、基礎免震構造を採用するとともに、通常の建物の 1.5 倍の耐震性能を備える計画としています。</p>
159	火災対策は大丈夫か。特に 5～18 階執務部門に避難用階段（外部等）はあるのか。火災発生時にエレベーターが止まる場合、今の階段で逃げられるのか。	<p>火災対策については、消防設備や防火設備等の充実を図るとともに、区画壁で作られた防火区画や特別避難階段、強制排煙の設備、屋上部の緊急救助用スペースといった、万が一の火災の発生に備えた設備を備える計画としており、市民の皆様の安全確保に万全の配慮を行ってまいります。</p>
160	災害に強い市庁舎が求められているが、緊急避難通路が外側にも必要と考える。	
161	災害発生時のエネルギーについて、電気のみならず、ガスなどと分散し、それぞれの特徴をいかした方がよい。非常用発電機の燃料が重油だと環境性に問題があると思う。	<p>災害時にライフラインに支障が生じて、庁舎機能に影響が及ばないよう、非常用電源の確保や給排水機能、通信機能の多重化などを図ります。</p>

		<p>また、都市ガスについては、主要幹線に埋設されている災害に強い強固なガス管から、直接、ガスを引き込むなど、確実に供給できる計画としております。</p>
162	食糧、飲料水や救急援護物資の備蓄庫を設ける。	<p>本市では、災害に備え、避難者の方々のための非常用の食糧や資機材を、市内各地域の小中学校、及びコミュニティセンターなどに、計画的に備蓄しています。</p> <p>また、新庁舎の防災フロアである6階には、発災時に、災害対応のために用いる様々な機材や、災害対応に長期間従事する職員に対して、一定期間分の食糧や飲料水等を保管する防災倉庫を設ける計画としています。</p>
163	各階の中央辺りに洗面コーナーを設け、災害時の手洗いと給水に役立てる。	<p>新庁舎のトイレや給湯室は、低層部は東西の2か所、中高層部は、各階の中央に位置するコア部に、それぞれ設置する計画としています。</p> <p>これらの仕様については、発災時における使用内容や衛生管理の観点を踏まえて検討してまいります。</p>
164	市役所を福祉避難所に指定し、市民のよりどころとする。	<p>本市では、平成27年4月1日現在、災害発生後、家屋の損壊等により、自宅として生活できない被災者が、一定期間生活するための施設である「指定避難所」として、小中学校の体育館など198施設を指定しています。</p> <p>また、福祉避難所は、これらの一般的な指定避難所では、生活に支障をきたす要配慮者の方々のために、支援体制が整備されている社会福祉施設等を避難所に指定するものであり、市内に46施設が存在します。</p> <p>市庁舎については、災害対応や復旧・復興活動の司令塔となる拠点として、これを位置付けているため、被災者が一定期間生活する「避難所」に位置づける計画はありませんが、1階の市民交流スペースや2階のレストラン等は、発災直後の帰宅困難者などの一時的な</p>

		<p>緊急避難にも活用することを考えています。</p> <p>福祉避難所については、要援護者の移動などの負担軽減等も踏まえ、引き続き、お住まいに近い各地域において、その充実を図り、あわせてその周知に努めてまいりたいと考えています。</p>
--	--	---

P7-3（環境）岐阜の「地・水・光・風」と共生する新庁舎

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
165	<p>耐震・免震構造と太陽光等自然エネルギーの活用による自家発電を進め、市役所庁舎で必要な電力消費量の大半は自然エネルギーで賄う。</p>	<p>新庁舎は、地震による構造体の損傷を防ぐことで、迅速で切れ目のない災害対応や復旧・復興活動が可能となるよう、基礎免震構造を採用するとともに、通常の建物の1.5倍の耐震性能を備える計画としています。</p>
166	<p>再生可能エネルギーを導入するならば、敷地を広くとり太陽光発電のパネルを計画以上に敷設すべき。</p>	<p>また、環境配慮の点においては、長い日照時間や豊富な地下水といった、本市の地勢や気候、風土を最大限に活用し、太陽光発電や太陽熱、地下水等を利用した発電・空調システムをはじめ、再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境に配慮した新庁舎とする計画としています。</p>
167	<p>屋上ソーラーパネルの設置について、何キロワットを想定しているのか。買電等は考えているか。根拠のない、使用不可能な発電量なら、投資の無駄になるため。どこに、どの様に使用するかを考えているのか。</p>	<p>なお、地下水の利用については、現本庁舎やぎふメディアコスモス、地域の公民館などで既に行われており、特に水質による配管等への悪影響について報告はないため、現時点では、その利用が可能であると考えています。</p>
168	<p>自然エネルギーや資源を活用する項目で、地下水の熱源、太陽光パネル、アースチューブについては、部分活用だと思われるが、費用対効果については疑問がある。十分な比較検討の上で導入してほしい。特に地下水の熱源利用は、地下水の成分によって配管の更新時期が早くなったり、地下水脈の流量や流れ方向に留意したり、蓄熱槽やポンプが必要になって、建設コストや維持費のアップになる。そこで、実際に検討して整備するものだけをイニシャルコスト・ランニングコストを比較して提示してほしい。</p>	<p>自然エネルギーの利用については、今後の実施設計において、市庁舎に求められる機能を確保しつつ、費用対効果などを総合的に勘案しながら、さらに検討を進めてまいります。</p>

新庁舎の規模、建設地等

1 新庁舎の規模、施設構成

① 規模を縮小する [出先機関を充実する]

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
169	<p>高齢者が増えることを考えると、支所にいろんな機能を移し、市役所をコンパクトに、せめて10階までにしてほしい。高齢になればなるほど、近くの支所なら何とか行くことが出来ても、遠い市役所までは行けなくなるのではないかと心配。交通費もかかるし。</p>	<p>本庁舎で行う業務は、戸籍や住民票等の登録・証明事務といった市民サービスの提供のほか、その主たる機能は、市政運営の意思決定や、総務や人事等の内部管理、全市的な政策や施策の企画立案や予算編成、さらには、高度な専門性が求められる介護、福祉、子育て支援等の相談窓口等の基幹的な機能を果たすものです。</p>
170	<p>市の機能は、本庁、南、西の分散庁舎の充実及び各事務所の中層化を図ることがベストである。設計案に示された高層市庁舎は、不都合が多すぎるため、高層化を止めるべきだ。</p>	<p>こうした基幹的な機能は、今後、人口減少や少子高齢化社会の到来、あるいは地方分権の進展に伴い、一層の充実が求められるようになるかと考えています。</p>
171	<p>現在の各事務所は、総合窓口で「税務」「農業」「住民票・戸籍」「年金保険」などを一括して対応してくれ、職員の能力や知識も高い。住民も一度に申請や相談ができて楽である。市の機能を分散管理することで、災害リスクを軽減し、総合対応で市民も安心できる。職員も全てに精通して業務のスキルアップができる。</p>	<p>加えて、本市を取り巻く社会経済環境が日々厳しさを増していく中、今後も持続可能な行財政経営を維持していくためには、弛まない行財政改革とともに、効率的な組織運営や、限られた人的資源の有効活用などの観点から、基幹的な機能は、本庁舎に集約していることが合理的であると考えています。</p>
172	<p>司町に市の機能が集中すると、先の常総市役所の例にみられるように、職員が速やかに集合できないなど、災害時の迅速性に欠ける。市の機能は分散管理型がベストだ。各事務所の中層化と災害拠点、防災倉庫、避難場所化が良策である。</p>	<p>一方、地域事務所については、マイナンバー制度やICTの進歩等の影響を見極めながら、福祉機能の充実や、コミュニティセンターにある保健機能との連携強化、あるいは、地域のまちづくり活動を支援する機能など、引き続き、その充実を図ってまいります。</p>
173	<p>災害に備えるためには、「新庁舎」をできるだけコンパクトし、市内各所に「避難所」として使用できる「がっちりした支所的な建物」の提案が望ましい。そうすれば、災害が起こった際、住民が最寄りの「支所的な建物」で一時避難が可能になる。また、建設の配分は、新庁舎＝130億円、支所5億円×4ヶ所（東・</p>	<p>なお、新庁舎に集約するのは、本庁舎と、その近隣に分散している南庁舎、西別館、北別館及び明德庁舎に配置している部署であり、各地域の事務所等は含みません。</p> <p>また、市庁舎及び地域の各事務所は、災害対応や復旧・復興活動の拠点であり、避難所</p>

	西・南・北)の合計150億円で充分だ。	として位置づける計画はありません。
174	はたして、18階も必要なのか？高層ほど工費は高くなるし、日陰も多くなる。出先機関をも集約するのであれば、職員及び業務だけの合理化を進めることであり、市民の利便性、市民の問題を遠ざけることになるので、その点も説明してほしい。	自宅で生活ができない被災者が、一定期間生活するための「指定避難所」については、平成27年4月1日現在、小中学校の体育館など198施設を指定しています。

② 規模を縮小する [旧岐阜県庁舎の活用]

NO.	いただいたご意見 (要旨)	岐阜市の考え方
175	「各コミセン単位に必要最低限の窓口業務を移す」「旧総合庁舎も庁舎機能として利活用をする」という2点を踏まえれば、18階建にせずとも、もっとコンパクトで総コストも抑えた庁舎設計が可能ではないか。	旧岐阜県庁舎は、大正13年に建築され、約90年間にわたり、岐阜県の行政庁舎として、供用されていましたが、耐震性の問題から、平成25年3月に閉鎖されました。 現在、岐阜県において、その歴史的・文化的価値を鑑み、保存することとした建物の南側部分について、今後の活用方法を検討していると伺っています。
176	高層化の理由は図書館への影響に配慮したとの事だが、近隣の旧県総合庁舎など使われていない既存の建物を利用するなど、全体の規模縮小を検討すべき。	現時点では、具体的な活用方法は未定と伺っておりますが、岐阜県と本市の計画が相まって、「つかさのまち」全体に、さらなるにぎわいが創出されるように、必要に応じて、岐阜県と協議をしていきたいと考えています。
177	旧県庁は歴史的な建物だと聞いたことがあるが、現在、何も使われていないのではないか。あの建物を県から譲り受けリフォームして使えば、別館として使えるのではないか。	

③ 規模を縮小する [その他]

NO.	いただいたご意見 (要旨)	岐阜市の考え方
178	市の人口減少、高齢化の中、コンパクトシティを目指すとしながら18階は高すぎる(精々10階迄。予想される地震対策としても)。全体の床面積ももっと圧縮すべき。	本市では、弛まない行財政改革の一環として、職員定数の適正化に取り組み、ピークであった昭和56年度の4,999人から、平成27年度には3,767人へと、人数にして1,232人、率にして約24.6%の削減を行っており、今後も引き続き、職員定数の適正化に努めてまいります。
179	18階建になると聞いたが、仮に南庁舎が合同になるにしても、それだけ大きい建物が必要なのか。せいぜい13階~15階もあれば充分と思う。	一方、新庁舎の延床面積については、基本計画においては、約41,000㎡(実算定では約41,500㎡)を想定しておりましたが、市民の皆様がご利用になるスペースは、十分に確保
180	市職員、市会議員の人数が多すぎるため、建物の延べ面積が多くなるのと遊びが多くなってしまう。	

181	<p>ボリューム計画について、ミニマル（最小限）という意識が根本から欠落しているように見える。スペースだけに囚われず、様々な業務や、人々の行動をいかに簡素化して最小限であるべきかをまず市庁舎で市民に示して欲しい。</p>	<p>しつつ、職員の執務スペースの共用化や縮小化に努め、約 39,300 m²と、約 1,700 m²のスリム化を図りました。</p> <p>今後の実施設計においても、真に必要な機能等を精査し、適正規模の庁舎建設に努めてまいります。</p>
-----	--	--

2 新庁舎の建設地

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
182	<p>「つかさのまち」は、中心市街地、神田町から北に位置するため、中心市街地活性化に反する。また、せっかく合併した柳津町から更に遠隔地となるため失礼だ。</p>	<p>本市では、都市の顔ともいえる、中心市街地の活性化を、重要課題と捉え、「岐阜市中心市街地活性化基本計画」を策定し、国の認定を受け、様々な施策を展開しているところです。</p> <p>また、新庁舎については、開館以来、大勢の市民の方々に賑わう「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と連携して、さらに大きなにぎわいを創出し、そのにぎわいを柳ヶ瀬へ波及させることによって、中心市街地活性化に寄与できるものと考えています。</p>
183	<p>あの場所には、図書館とホールが建つはずだったのに、いつの間にか、市役所と図書館になったのが残念だ。</p>	<p>平成 22 年に策定した「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」において、第一期整備には図書館を中心とした文化・市民交流の複合施設を、また、第二期整備には、行政施設を整備する計画としています。</p>
184	<p>メディアコスモス建設は早すぎたのではないか。メディアコスモスが新庁舎の後に建設されれば、新庁舎の中に入れることも出来たし、現庁舎跡地に建設することも出来、今以上に利用が良くなると思う。</p>	<p>これは、図書館が、市民の皆様の要望が大変高い施設であったことや、多くの方々にご利用いただくことによって、中心市街地に、にぎわいの創出が期待できること、さらには、教育立市を目指す上で有用な施設であることを踏まえたものであり、あわせて、財政計画との整合性についても考慮し、段階的な整備を行うことにしたものです。</p>
185	<p>一点集中型機能を持つ超高層新庁舎を建設するのではなく、市文化センターの場所に 10 階程度の小さい新庁舎を作り、一方で各地域の文化スポーツ活動の中心となっているコミ</p>	<p>新庁舎の建設地は、学識経験者等で構成された「岐阜市庁舎のあり方検討委員会」にて、中心市街地とその周辺地域で評価対象地となりうる場所（6 か所）から検討したものです。</p>

	<p>センや体育館の拡充と支所機能も一体化し、合理化を図る。</p>	<p>その中には、文化センター及び金公園の敷地も含まれていましたが、様々な観点から、これを比較検討した結果、岐阜大学医学部等跡地が最適であると判断したものです。</p> <p>また、新庁舎の規模については、市民の皆様の利便性の向上等の観点から、5つの建物に分散している本庁機能を集約し、その上で、市民の皆様にとって必要な機能や施設を集約するとともに、コンパクトで効率的な執務環境とするよう、多角的に検討を重ね、計画に掲げる規模が必要であると考えました。</p>
186	<p>使わなくなった学校とかデパートを市庁舎にしている都市もある。箱物行政が批判されてきたが、また箱物という感じだ。欧米ではリフォームして古い建物を長期間使っているようだが、見習ってほしい。</p>	<p>現在の本庁舎は、昭和41年の建設からおよそ半世紀が経過し、老朽化が著しく、耐震性や建物の損傷やアスベストの飛散によって災害対応拠点として使用できない可能性も高いという重要な課題を抱えています。</p> <p>さらに、利便性の面においても、本庁機能が5つの庁舎に分散し、いずれの庁舎も手狭でバリアフリー対応が不十分であるなど、様々な課題があります。</p> <p>近年、この地域において、南海トラフ巨大地震の発生が強く危惧される中、本庁舎が、災害対応拠点として使用できない可能性が高いことなどを踏まえ、強固な構造を有し、災害対応や復旧・復興活動の拠点となる新庁舎の建設は、喫緊の課題であると考えています。</p>

新庁舎の事業費、事業手法及びスケジュール

1 想定事業費等

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
187	<p>新市庁舎の設計にあたっては、岐阜市をこういう街にしようというビジョンがあり、そのためどのような行政組織が必要なのか、それが描かれてはじめて、どういう建築が必要かが、はっきりしてくる。</p> <p>そこで、岐阜市側に「デザイン」のわかる</p>	<p>本市の新庁舎設計業務に従事する設計事業者は、事業者を選定する「公募型プロポーザル方式」において、一次選考では、事務所や技術者の能力、市内企業の活用について総合的に優れ、また、二次選考においても、創意工夫に溢れた技術的な提案や、設計見積額な</p>

	<p>プロをつけて、設計する建築家との間で厳しいプロのやり取りをしてもらうような体制（セカンドオピニオン）を組んではどうか。</p>	<p>どで優位であったことから、総合的なバランスに最も優れた設計事業者として選定されたものです。</p> <p>また、同社は、これまで、国や地方自治体の庁舎建設を、100件以上手がけてきた豊富な実績とノウハウを有しており、本市に最適な庁舎を設計する能力を備えた設計事務所であると考えています。</p> <p>加えて、これを補完するため、新庁舎の配置計画や建物形状については、都市計画、建築意匠や構造、景観や緑化などの専門家や、メディアコスモスの設計者である伊東豊雄氏からも意見や助言を伺っており、多角的な視点から設計を進めています。</p>
188	<p>工事費の概算を示す必要があるのではないかと。</p>	<p>新庁舎建設事業について、一昨年12月に策定した「新庁舎建設基本計画」において、基本計画策定時点での概算事業費として、約200億円を想定しています。</p>
189	<p>今回の設計案には建設費の説明が一切ないが、コスト意識がなければどんどん立派なものになってしまうため、全体の建設費は当然、建物別・明細別もあればよい。</p>	<p>これは、基本計画の内容に基づき、新庁舎の本体工事費や立体駐車場の整備費に加え、設計費や工事監理費といった建設に必要な基本的な経費を、計画策定時点における概算として算定したものです。</p>
190	<p>この設計案は、計画予算内のできるのか。</p>	<p>今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催や、震災の復興需要の本格化などが相まって建設需要を押し上げ、さらに、円安による原材料費の値上がりや、人件費の高騰なども影響し、建設費の上昇も想定されます。</p> <p>また、建設業界で働く技能労働者の減少や、高齢化といった建設業界の抱える構造的な課題も重なり、この傾向は、継続するのではないとも言われています。</p> <p>建設費の動向については、様々な要素が複雑に絡み合っており、正確な予測は容易ではないものの、本市の大型プロジェクトに影響が及ぶ可能性も否定できないと考えていま</p>

		<p>す。</p> <p>そのため、正確な事業費については、来年度の実施設計において、建物の詳細な仕様を決定した後、その時点の最新単価で積算することになりますが、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう、真に必要な機能や設備等を精査し、出来得る限り、事業費の縮減に努めてまいります。</p>
191	<p>最終的には建設費の問題と考える。予算が確保できようができまいが、不要な建物は無駄である。例えば、なぜ、一宮市庁舎の規模では無理だという結論になったのか。また、かなり贅沢した富山市庁舎は 160 億円程度だったが、岐阜市はそれをはるかに超える 200 億円規模と聞いており、過大だ。</p>	<p>現在の本庁舎は、本庁機能が分散し、いずれの庁舎も狭くバリアフリーが不十分であるといった利便性の課題に加え、防災面においても、大規模地震の際に、老朽化やアスベスト等のために、災害対応拠点として使用できない可能性が高いという重大な課題を抱えています。</p> <p>本市では、この地域では、最悪の場合、東日本大震災をも超える南海トラフ巨大地震の発生が強く危惧されていることから、喫緊に新庁舎を建設し、防災拠点機能の強化・充実を図る必要があると考えています。</p> <p>新庁舎の規模については、市民の皆様の利便性の向上等の観点から、5つの建物に分散している本庁機能を集約するとともに、市民の皆様の利便性や、出来得る限り、コンパクトな執務環境となることなどを検討した結果、計画に掲げる規模が必要であると考えています。</p>
192	<p>事業費について、最大でも積立金(100~110億)の範囲とすべき。これ以上、いくら有利(特例債)といえども借金増はダメ。現状でも今の金利負担は近々市の財政を悪化する。</p>	<p>本市は、新庁舎建設事業の財源として、昭和 62 年度から、家庭でいう貯金にあたる基金を積み増してきており、現在、約 110 億円を新庁舎建設の財源として活用する予定です。</p>
193	<p>これを建てることによって岐阜市の赤字はいくらになるのか。</p>	<p>また、平成 18 年 1 月に柳津町と合併したことにより、有利な借入金である合併特例債を活用することが可能となり、この約 90 億円も活用する予定です。</p>
194	<p>新市庁舎の建設は、税金膨大な「新国立競技場」の二の舞だ。</p>	<p>なお、合併特例債は、一般の市債が後年度、</p>

		<p>市税ですべて賄わなければいけないのに対し、元利償還金の70%が、地方交付税の算定額の対象に含まれ、後年度に措置されるため、将来の市民負担の軽減という点において、非常に有利な財源といえます。</p> <p>このように、新庁舎建設に必要な財源を計画的に確保していることから、現世代及び将来世代の負担を、出来得る限り軽減し、本市の財政運営への影響を最小限に抑制しながら、事業を進めることができると考えています。</p> <p>しかし一方で、今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催や、東日本大震災の復興需要の本格化などにより、全国的な建設費の上昇傾向が想定されるため、今後も引き続き、出来得る限りの事業費の縮減に努めてまいります。</p>
--	--	---

基本設計案への賛否について

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
195	今後も市民が親しめる安心感のある市役所を希望する。	<p>いただいたご意見を踏まえ、新庁舎建設の基本理念に掲げる、「市民に親しまれ、長く使い続けることができる新庁舎」の実現に向け、引き続き、市民の皆様の声をお伺いしながら、着実に事業を進めてまいります。</p>
196	すばらしい設計である。外国人市民としては、すばらしい設計よりすばらしいサービスを求めるので、外国人が利用しやすい市役所に期待している。	
197	一人でも多くの市民の方々の意見をもらっているので、きっといい市役所ができると思う。	
198	田舎だからこの程度などと言わないで、機能・デザイン・予算を加味し、素晴らしい、市民が何処にでも胸を張れる「新市庁舎」としてほしい。	
199	公共施設の建物を考える時「これだけのことを考えなければいけない」と基本設計（案）を見て読むことができ、勉強になった。	
200	計画が曖昧に感じるが、多額の資金も使わ	

	<p>れるので、実用性の有る新庁舎とすべきである。</p>	<p>く、親しまれ愛されるとともに、市役所としてのパフォーマンス（性能）を最大限に発揮できる庁舎を目指しています。</p> <p>具体的には、市民の皆様の利便性や快適性を向上させるため、低層階に市民窓口や利便施設を集約して配置するとともに、ユニバーサルデザインを導入した整備を行うなど、誰もが利用しやすく、快適で安全な庁舎を実現しています。</p> <p>また、大規模地震や局地的豪雨など、様々な自然災害の脅威が高まる中、災害対応や復旧・復興の司令塔となる新庁舎は、一般建築物の1.5倍の優れた耐震性能を確保するとともに、長良川の氾濫や集中豪雨に備え、8階に基幹設備を集約するなど、災害時にも市庁舎機能を維持し、迅速な災害対策を行うことができる高度な防災拠点機能を備えています。</p> <p>さらに、職員の執務スペースをゼロベースで見直し、その効率化を図りつつ、将来の機構改革等に柔軟に対応できる設えとするなど、長きにわたって市庁舎として最大限の性能を発揮できるよう、様々な実用的な配慮を行っています。</p>
--	-------------------------------	--

基本設計案策定の経過・プロセスについて

1 設計案の公表やパブリックコメント実施の方法について

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
201	<p>基本設計（案）が低層案の計画ではないと知り驚いた。低層案も良かったと思うが、低層案と高層案を両方検討し、市民の意見を聴くべきではないか。</p>	<p>基本設計（案）の策定にあたっては、市民の皆様の意見を、出来得る限り設計に取り入れることが重要であると考え、基本設計の作業を開始した昨春の段階から、様々な機会を設け、意見を伺ってきました。</p>
202	<p>各階に、どのように各部署が配置されるのかも、利便性や建築の有用性を判断するのに必要。イメージだけでなく、すべての情報を開示し、市民と現実的な対話をする姿勢が必要ではないか。</p>	<p>その結果、年齢や性別、国籍など多様な立場の方から、また、市民ワークショップや市内各所で開催したタウンミーティングなど、様々な機会を通じ、1,300件を超える意見をいただきました。</p>

		<p>基本設計（案）は、これらの貴重な数々の意見を、出来得る限り生かして作成したものです。</p> <p>また、基本設計（案）の内容は、より多くの市民の皆様にご覧いただくことが必要であるため、全戸に配布される広報ぎふの12月1日号に、見開き2ページの特集記事を掲載したほか、市ホームページへの掲載や、市内の各地域事務所やコミュニティセンター等における閲覧や配付、昨年12月から実施した市民説明会や出前講座の開催など、様々な手段を活用し、その周知を図っています。</p>
203	<p>市民説明会に、市長、一部市議員（できれば庁舎建替え賛成、反対者）、関連各部長、設計事務所、決定していればゼネコンの代表、担当者の出席を求める。また、西東のコミュニティセンターでは開催しないのか。</p>	<p>市民説明会は、パブリックコメントの一環として、基本設計（案）の内容に関する詳細な説明が主たる目的であったため、担当部署の職員と設計事業者が出席し、開催させていただいたものです。</p>

2 プロポーザルで提案された9階建から18階建に至る経緯等について

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
204	<p>なぜ公募型プロポーザルで選ばれた(株)佐藤総合計画が岐阜市に提出した提案書に描いた横長の9階建建築とは全く異質の18階建基本設計（案）になったのか？両案の建設経済性、維持管理の効率性、日照と影の変化の比較データを示さないまま、18階建(案)を最適案と決めつけるに至った具体的な経過を市民に明らかにしてほしい。</p>	<p>プロポーザル方式は、設計図や外観デザインなどを選ぶコンペ方式とは異なり、発注者が求める業務を具体的に実現するために必要な技術力や発想力、ノウハウ等を備えた、バランスに優れた「事業者」を選ぶ方式です。</p> <p>また、プロポーザルにおけるパース図などは、設計事業者の能力を推しはかるための参考として用いるものであり、各事業者が自社の考えに基づいて、提案したものです。設計事業者との業務契約後、「新庁舎建設基本計画」に掲げる6つの基本方針である</p> <ol style="list-style-type: none"> ①窓口サービスなどの利便性の向上 ②周辺環境との調和 ③防災機能の強化 ④執務環境の効率化 ⑤セキュリティ対策 ⑥ライフサイクルコスト
205	<p>設計業者が岐阜市から与えられた要素や諸元に対して検討を重ねて「低層案」を提案し選定されたにも拘らず、基本設計で最適な「高層案」にしたというのであれば、両案の機能性、景観・デザイン、建設コスト、建物の安全性、維持管理等々を検討比較した資料を市民に明示すべき。市民の税金で建設するという公用施設としての経済性、効率性、機能性を十分に検討して「高層案」で推進するなら、</p>	

	「高層案」に至った具体的経緯を市民に提示すべき。	のそれぞれが、より効果的に高まるよう、建物の配置、階数、形状、動線、レイアウトなどについて、調査と検証を繰り返し、設計作業を進めてまいりました
206	プロポーザルでの提案と今回の設計案を比べ、どこをどのように変えたのか、特に9階建から18階建になった理由を明確に説明してほしい。また、18階の高層建てが良いと言うならば、低層と高層の両案を提示し、建設経済性、維持管理の効率性、日照と影の変化などを比較したデータを示してほしい。	今回お示しした基本設計は、本市と設計事業者が、契約締結後、互いに様々なアイデアを出し合い、打ち合わせを重ね、さらに、それを検証するといった共同作業によるものであり、あわせて市民の皆様や専門家、あるいは市議会などからいただいた意見や提案等を、出来得る限り活かして取りまとめたものであると考えております。
207	佐藤総合計画が公募型プロポーザルで提案した9階建ての案とは、似ても似つかない18階建てのL字型に変わっている。プロポーザルで高層の提案をした企業が落ち、低層の提案をした佐藤総合計画が評価されたにも関わらず、高層にする理由を、市民に十分説明する必要がある。	
208	<p>岐阜市が発表した基本設計案は、公募型プロポーザルで選定された(株)佐藤総合計画が提案した低層の9階建てとはコンセプトがまったく異なる18階建ての高層建築となっている。市は「提案書に描かれた建物の形状では評価していない」と言及しているが、なぜパース等を提出させたのか。では一体何の評価項目を基準に設計者を選定したのか。</p> <p>社団法人公共建築協会が刊行した「設計プロポーザルの進め方」を踏まえると、今回のプロポーザルの評価項目の中に、計画案(低層案)に対する評価点等がないことを説明する義務があると思われ、ぜひ評価表と審査経過を公表し、建物の形状によるプロポーザルではないことを示すべきだ。</p>	
209	中日新聞記事によると、佐藤総合計画中部事務所が公募型プロポーザルで市に出した横長9階建てという提案が全く無視されているとあるが、それはなぜか。プロポーザルで提案されたイメージ図も、プロポーザル審査の	

	中で評価しているのではないのか。	
210	基本設計では、建物をスリムな形状にして日影の影響を軽減すると謳われているが、9階建てのプロポーザル案とは日影に対する考え方が全く異なっている。同じ設計者でそんなに考え方が変わるものなのか。他者提案からの流用ではないかとの印象を受ける。パブリックコメントで談合との指摘もあるようだが、どのように考えているか。	

その他市政に関すること

NO.	いただいたご意見（要旨）	岐阜市の考え方
211	浸水レベルについて、1m地盤より高くとあるが、「図書館（メディアコスモス）」側はどうなっているのか。「新庁舎」は上げるが「図書館（メディアコスモス）」は上げてないのであれば、その根拠を教えてください。	「みんなの森 ぎふメディアコスモス」につきましても、新庁舎と同様に1階の床レベルを、周囲の地盤より1m高くし、浸水への対策を施しています。
212	新庁舎に多額のお金を使うより、市民の生活に金を使ってほしい。	いただいたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきたく、それぞれのご意見を担当部局に申し送りいたしました。
213	交通の便も、乗りかえを少なくし、バス料金も安く（100円バス）する方法を取り入れてほしい。	
214	市民の税金を市庁舎のために使用するなら、国民保険料も大変な人がいるのでそちらの見直しはどうか。	
215	精神障がい者は、人との対応、特に初めての方はとても苦手だ。また、〇〇課の〇〇へ、〇〇して〇〇を…、と一度にいろんな事を言われると混乱する。窓口（障がい福祉課）の対応は良くても、そこへ着くまでに疲れてしまう。そこで、案内係や、受付の方達も障がいの特性を理解できるよう、勉強会等で学んでほしい。（わかりやすく、メモ等で説明するとか）	
216	精神障がい者は、他の障がいの方と違って、相談や手帳の受け渡しは保健所、受給者証は市役所であるため、とても不便。これも障が	

	<p>い者差別と考える。新庁舎では、精神障がい者も1つの窓口ですべての申請、受け取り、相談が出来る様にしてほしい。</p>	
217	<p>余分な費用をかけるのではなく、公的年金の（低所得者）の医療費無償化、子育て支援の充実を更に良くするよう、最低限の建物を望む。</p>	